
らき すた&けいおん！逃走中

D-JUN

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

らき すた&けいおん！逃走中

【Nコード】

N1460P

【作者名】

D-JUN

【あらすじ】

らき すたとけいおん！のキャラがとある夜の遊園地に集まった。そして、恐怖の逃走劇が始まる・・・

はじめに

はじめまして、

D・JUNと申します。

逃走中が好きなだけで、書こうという愚か者です。

なぜ、らき すたと

けいおん！かというと、なんとなくです…

言っておくと、文才は皆無です！

へたくそです！

国語の成績は全教科中一番悪かったです。

あと、発想は貧困です。

それでも良い方は…

考えてから読んでください。

次回で出るキャラと

エリアなどの詳細を

載せます。

では皆さん

こんな私をどうかよろしくお願いします。

・・・最後までやれるかな？

キャラ紹介（前書き）

今回はキャラ紹介です。名前と目標金額を載せます。

キャラ紹介

らき すたメンバー

泉こなた

目標金額 9 6 万円

柊つかさ

目標金額 3 0 万円

柊かがみ

目標金額 5 0 万円

高良みゆき

目標金額 5 0 万円

日下部みさお

目標金額 9 6 万円

峰岸あやの

目標金額 9 6 万円

八坂こう

目標金額 9 6 万円

山辺たまき

目標金額 9 6 万円

毒島みく

目標金額 9 6 万円

永森やまと

目標金額 4 0 万円

小早川ゆたか

目標金額 3 0 万円

岩崎みなみ

目標金額 5 0 万円

田村ひより

目標金額 5 0 万円

パトリシア・マーティン

目標金額 9 6 万円

若瀬いずみ

目標金額 9 6 万円

けいおん！メンバー

平沢唯

目標金額 9 6 万円

秋山澪

目標金額 9 6 万円

田井中律

目標金額 9 6 万円

琴吹 紬

目標金額 3 0 万円

中野 梓

目標金額 9 6 万円

真鍋 和

目標金額 5 0 万円

平沢 憂

目標金額 9 6 万円

鈴木 純

目標金額 9 6 万円

以上 2 3 人で
逃走中を行います。

キャラ紹介（後書き）

次回いよいよ

ゲームが始まる・・・

エリア詳細〜夜の遊園地〜（前書き）

忘れてた・・・

エリアは

こんな感じです。

エリア詳細〜夜の遊園地〜

逃走の舞台は

とある夜の遊園地

イルミネーションが輝く

アトラクションエリアと

漆黒の闇と月の光が

支配するイベントエリア、

建物が多いレジャーエリア、

更に、ライトアップされたセントラルエリアが存在する。

アトラクションエリアは、

遊園地の北部の方にあり

絶叫マシンの他に

室内アトラクションも

たくさん存在する。

イベントエリアは、

園内の奥側に位置し、

ワイワイ広場、ミュージックホールなどの

イベント会場が存在する。

レジャーエリアは、

入口付近にあり、

従業員などの関係者用の施設とショップ、レストランが存在する。

セントラルエリアは、

その名の通り中央にあり、キャッスルや噴水広場などの

シンボルが存在する。

ちなみに、

入口は南東部にあります。

エリア詳細〜夜の遊園地〜（後書き）

オープニングゲームが
始まる・・・

オープニングゲーム(1)(前書き)

ゲームが始まる・・・

オープニングゲーム(1)

とある夜の無人の遊園地・・・

漆黒の闇と

華やかなイルミネーションが彩るこの場所に
23人の逃走者達があつめられた。

恐怖の逃走劇がいま始まる・・・

「これよりゲームを始める」

不気味なアナウンスが流れる。逃走者に緊張が走る。

「君たちの前にある3体のハンターは
ボックスの中に閉じ込められている・・・」

「目の前にある色分けされた鎖は全部で23本・・・
そのうち1本だけがボックスの扉を開放するハズレの鎖・・・」

「それを引くと3体のハンターが解き放たれゲームがスタートする。
・・・」

ハンターまでは20m

逃走者は1人ずつ鎖を引き抜かなければならない。
ハズレを引けば

ハンターが目の中の逃走者に襲い掛かる。

鎖を引く順番はくじ引きにより決定した。

こなた「よつと。あゝ、19番かあ。」

かがみ「ええ！1番！？嘘でしょ。」

唯「22番かあ。」

律「おつ、5番？よしっいいぞ」

最初に鎖を引くのは
柊かがみ

かがみ「わつ、怖い・・・」

こなた「かがみん、何色？」

かがみ「・・・紫！」

つかさ「なんで？お姉ちゃん」

かがみ「なんとなくよ。引くわよ。」

クリアか・・・

ハンター放出か・・・

かがみ「いくよ！」

ジャラッ！

かがみ「・・・大丈夫！」

つかさ「えゝ、ドキドキする・・・」

律「こんな状態が続くのかよ」

かがみ「じゃあお先にゝ」

柊かがみ　クリア

残る鎖は22本

2人目は若瀬いずみ

いずみ「わっ、テレビと違う。ホントに怖い！」

パティ「イズミ、ナニイロヒきますか？」

いずみ「うーん・・・じゃあ、銀色で」

ひより「なんでですか？」

いずみ「きれいだから」

ひより「単純っすね。」

クリアか・・・

ハンター放出か・・・

いずみ「いきます！」

ジャラッ！

いずみ「・・・セーフ！やった！」

唯「いいなあ」

こつ「この時間けっこうきついつて。」

若瀬いずみ クリア

残る鎖は21本

3人目は中野梓

梓「どうしょ」

唯「がんばれあずにゃん！」

澪「がんばるも何も運だろ。」

そう・・・

このゲームに必要なのは
運だけ・・・

ハズレの鎖を引く確率は
21分の1・・・

梓「決めました。」

こなた「何色？」

梓「赤です。」

こなた「なんで？」

梓「私のギターの色です。」

こつ「ええ、赤って不吉じゃね？」

梓「いえ、赤を引きます！」

クリアか・・・

ハンター放出か・・・

梓「・・・引きます！」

ジャラッ

梓「・・・あつ、やりました！」

中野梓 クリア

残る鎖は20本

4人目は小早川ゆたか

ゆたか「わわっ、ほ、本当に怖い」

こなた「ゆーちゃん、何色？」

ゆたか「ど、どうしよう。」「ひより」「ゆっくりでいいですよ。ゆ
っくりで」

だが、時間がかかるほど
恐怖も長く感じる・・・

ゆたか「じゃあこれ・・・朱色にします。」

こなた「なんで？？ゆーちゃん」

ゆたか「一番近くにあったから・・・」

クリアか・・・

ハンター放出か・・・

ゆたか「いきます。」

ジャラッ

全員「おお」

小早川ゆたか クリア

ゆたか「良かった。はあ・・・まだドキドキしてる。」

こなた「ゆーちゃんががんばれ」

残る鎖は19本

オープニングゲームは
まだ終わらない・・・

オープニングゲーム(1)(後書き)

いよいよ始まりました。
さて、ここまで4人が
クリアしました！

鎖を引くのは
いったい誰だ！

オープニングゲーム(2) (前書き)

残る鎖は19本

ハズレの鎖をひくのは誰だ・・・

オープニングゲーム(2)

残る鎖は19本

5人目は田井中律

律「よっしゃー」

唯「りっちゃん何い」「金色」

漣「はやいな!!」

律「最初から決めてた!」

漣「もう引くのか!？」

律「引く!!行くぞ!」

クリアか・・・

ハンター放出か・・・

律「そりゃっ!!」

ジャラッ

律「よし」

田井中律 クリア

漣「こっちのペースも考えろ！」

唯「早すぎだよ」

律「へへっ（笑）じゃあ、しっつね」

残る鎖は18本

6人目は田村ひより

ひより「間近で見ると怖いっすね」

こなた「ひよりん、何色？」

ひより「ピンク色で！」

こなた「なんで？」

ひより「好きな色なのと、ピンクは安全そうだからです！」

こう「じゃあ引く？」

ひより「引きます！」

クリアか・・・

ハンター放出か・・・

ひより「いくっすよ」

ジャラッ

ガコン！！！

ひより「！！わっ！！」

全員「！！わっ！！！！！！」

START

ハンターが放出された・・・

ハンターの視界には・・・

ピーー

ひより「ヤバイ！ヤバイっす！」

田村ひよりだ・・・

ひより「うわっ！！」

ボワン

田村ひより 確保

残り人数22人

残り時間79分49秒

ひより「ハア、ハア・・・早い！もう終わった・・・」

まさに瞬殺・・・

ピリッピリッピリッ

かがみ「確保情報…あつ、田村さん捕まった！」

こう「やっぱ捕まったかあ」

パティ「ヒヨリがヒくとはオモイませんデシタ。」

梓「…始まりました。」

律「おお、始まったぞ」

ハンターから逃げた時間に応じて賞金を獲得できる・・・
それが・・・

run for money

逃走中

逃走劇の舞台は

ひとけのない夜の遊園地。

イルミネーションや

ライトアップされたお城が目立つ明るいエリアと
月の光と

闇が支配するエリアの

両極端に分かれる。

広さは東京ドームおよそ3個分。
敷地内全てエリアとなるが、
建物内は基本侵入できない。
この中を22人の逃走者は
3体のハンターから逃げまわる。

こなた「もう、一万円だ。」

純「どんどんお金が貯まってく」

賞金は1秒で200円ずつ上昇。80分間逃げ切れれば何人でも96万円を獲得できる。

たまき「ヤバいなあ、自首もありだなあ」

更に、

このゲームは自首もできる。

エリア内3ヶ所にある

公衆電話に自首を申告すれば、

その時点の賞金を獲得でき、ゲームからリタイアとなる。

ただし、ハンターに捕まれば賞金は0。

彼らは脅威のスピードと

持久力を併せ持つ。

逃げ切るのは容易ではない！

アトラクションエリアに

身を隠す秋山澪・・・

澪「...怖い」

相当怯えている・・・

漣「どうしよう…もう動きたくないよ…」

この場所を離れるつもりはないようだ…

イベントエリア内の

グリーングリーンにいるのは八坂こう

こう「動いてた方がいいよなあ。見つかったても大丈夫そうだし。」

こちらは隠れるつもりはないようだ…

そんな、この近くに

みく「やさこがいる…」

毒島みくがいた…

みく「よく堂々と歩けるなあ。」

茂みに隠れる作戦のようだ…

彼女達の近くに…

ハンターだ…

こう「あつ、ヤバいいる！」

気付かれた…

こう「うわっ！来たっ！」

こうが逃げた先には・・・

みく「……！こっち来た！」

みくだ・・・

こう「ハアッ……ハアッ……」

奥の茂みを利用して

ハンターを撒いたようだ・・・

だが、ハンターはまだ近くを搜索している・・・

こう「……今のうちに……離れよう……」

みく「こっち来ないで……」

・・・ハンターが誰かに気付いた！
見つかったのは・・・

みく「……！！イヤッ！！！」

みくだ・・・

ザッザッザッザッ

ハンターに見つかり
逃げるが・・・

ピーーーーー

気付くのが遅かった・・・

みく「イヤーーーーッ！」

ボワン

毒島みく 確保

残り人数21人

残り時間77分29秒

みく「ハアツハアツ…嘘でしょ…」

作戦失敗だ・・・

ピリリッピリリッピリリッ

たまき「！！びっくりした！なに…メール。毒島みく確保！？毒
さん捕まった！？早い！！」

こう「グリーングリーンにてって近くにいたの？」

情報はメールで通知される

和「…うそ…ハンターって、あんなに速いの？」

同じくグリーングリーンにいた真鍋和・・・

みくの確保を偶然見たようだ・・・

和「見つかったら捕まるって…」

その頃、

遊園地の入口付近に

逃走者とは違う人影があつた・
・
・

オープニングゲーム(2) (後書き)

小説内に出てきた

グリーングリーンは

イベントエリア内にある

野原と木々のある場所です。

普段は野外スポーツをするための広場です。

入口には怪しい人影・・・

いったい誰なのか・・・

く異変く遊園地の事件く（前書き）

すでに2人がハンターに捕まり、残るは21人
そして、怪しい人影の正体は・・・

「異変」遊園地の事件」

遊園地の管理室

そこには1人の警備員がいた

警備員「…そろそろ巡回の時間だ。」

広大な遊園地をたった1人で見回りするとは
とても考えられないが
それが彼の仕事である。

巡回の準備中、

入口のモニターを見た・・・

警備員「んっ、誰だ？」

怪しい人影を発見・・・

警備員「怪しいな」

急いで部屋を出る警備員
そして・・・

警備員「君！そこで何をしてる！」

???「あつ、す、すいません。」

警備員「こんな時間に…ってあれ…あなた、もしかして、明日のクラシックコンサートに出る…」

???「あつ、はい。チェリストの佐竹雄太郎です。」

警備員「やはり、そうでしたか。でも、どうしてこんな時間にここへ？」

佐竹「…じつは、花を供えたくて…」

警備員「花？…あつ、ひょっとして3年前の事件の…」

3年前、

ミュージックホールで3人の音楽家が亡くなった。

それも・・・

とても悲しい事故だった・・・

警備員「…関係者だったんですか…」

佐竹「ええ…親友でした。明日…もうすぐ、今日になりますね。命日なんです…どうしても、はやく来たかったもので…」

警備員「…そうでしたか…」

佐竹「やはり、無理ですよ……すみません、私はこれで」かまいませんよ。」

佐竹「！えっ、でも…」

警備員「大丈夫ですよ。そういう理由でしたら、どうぞ！」

佐竹「っ！ありがとうございます！」

そう言つて、遊園地に入ったときだった・・・

???「…ごめんなさい…」

警備員「えっ、佐竹さん？なんですか？」

佐竹「はい？何がですか？」

警備員「いま、ごめんなさいって…」

佐竹「私はなにも言つてないですよ……」

警備員「えっ！でも…」

???「ごめんなさい！」

警備員「！！今のは！？」

佐竹「この声…まさか、奏？奏なのか？」

その時だった。

バンッ！バンッ！バンッ！

警備員「っ！なんだ！？」

佐竹「！照明が！！」

無論、これは逃走者にも・・・

バンツ！バンツ！バンツ！

漣「！！キヤア！！なに？なに？」

つかさ「！！ひゃっ！ま、真っ暗！」

こなた「なにが起こってるの？」

更に・・・

みさお「真っ暗で何も見えねえ…ってあれ？…なんで、ベスト光ってんだ？」

いずみ「なにこれ！？」

みゆき「これじゃ目立ちすぎです！」

突如起こった停電・・・

更に、発光しだした逃走者・・・

いったいなにが起こっているのか！？

く異変く遊園地の事件く（後書き）

ミュージックホールは

イベントエリアにある、

クラシック音楽の会場です。

3年前の10月にある事件が起こった場所でもあります。

逃走者に突如起こった停電と発光・・・

いったいどうなってしまうのか！？

MISSION 1 (1) (前書き)

ついにミッションが

始まります！

どんなミッションが出てくるのか？

楽しみに。

MISSION 1 (1)

突如起こった停電と
発光しだした逃走者。

やまと「どうなってるの!?!」

純「ハンターに見つかっちゃうって」

ピリリッピリリッピリリッ

メールだ・・・

かがみ「なによ。こんな時に…ミッション!」

あやの「エリア内で突如停電が発生し、君たちの発光ベストも突然光りだした。」「

憂「発光を解除するには、腕にある解除装置に他の逃走者の持つカードキーを通さなければいけない」
これかな…」

紬「ただし、カードキーは1度しか使えず、同じ色に発光している者同士でやり合わないと意味が無い。」「ええっ!」

MISSION 1

発行を止める!

エリア内の照明が全て消え、
逃走者の身につけている発光ベストが光りだした。
このままでは、

ハンターの恰好の標的となる。

それを阻止するには、

自分以外の逃走者と出会い、相手が持つカードキーを解除装置に通
さなければならぬ。

ただし、カードキーは1人1枚ずつ持っているが
1度しかつかえず

同じ色に光る者同士でやらないと意味が無い。

なお、照明はいつ復旧するかはわからない・・・

発光ベストの光の色は

全部で4色。

赤・青・黄色・緑である。

逃走者の光の色は

このようになっていて・・・

赤

泉こなた

高良みゆき

岩崎みなみ

若瀬いずみ

中野梓

鈴木純

青

柊かがみ

峰岸あやの

山辺たまき

平沢唯

真鍋和

黄色

柊つかさ

毒島みく（確保）

永森やまと

田村ひより（確保）

田井中律

琴吹紬

緑

日下部みさお

八坂こう

小早川ゆたか

パトリシア・マーティン

秋山澪

平沢憂

なお、逃走者は誰がどの色に光るかを知らない・・・

ゆたか「どうしよう・・・」

イベントエリア、

ワイワイ広場にいた

小早川ゆたか・・・

ゆたか「みなみちゃんに電話・・・」

逃走者同士で通話可能

ピリリリッ・・・

みなみ「！…電話…ゆたかから」

ピッ

みなみ「ゆたか？」

ゆたか「みなみちゃん、ベスト何色？」

みなみ「…私は赤…ゆたかは？」

ゆたか「私は緑…」

みなみ「そう…今どこ？」

ゆたか「えっ？わ、ワイワイ広場だけど…」

みなみ「…じゃあそっち行く」

ゆたか「ええっ！でも、色が…」

みなみ「いっしょにさがせばいい…すぐ行く」

ピッ

ゆたか「みなみちゃん…」

みなみ「ここがターボスピダーだから…あっちだ！」

ベストの色が

違うにもかかわらず

接触を試みる岩崎みなみ・・・

ゆたか「…大丈夫かな？みなみちゃん…」

自分よりもみなみを

思いやる小早川ゆたか・・・

だが、そこに・・・

ハンターだ・・・

ピーーーーー

ハンターが・・・

気づいた・・・

気づかれたのは・・・

ゆたか「！キヤー！！」

ゆたかだ・・・

ピーーーーー

走りですが、遅かった・・・

ゆたか「ああっ」

ボワン

小早川ゆたか 確保

残り20人

残り時間72分40秒

ゆたか「みなみちゃん…ゴメンね…」

ピリッピリッピリッ

律「うるさいって！もうっ」

こなた「ゆーちゃん捕まった！ゆーちゃん…」

みなみ「…ゴメン」

襲い掛かる暗闇の恐怖と

ハンターの恐怖・・・

ゲームはまだ始まったばかりだ・・・

MISSION 1 (1) (後書き)

ターボスピダーは
アトラクションエリアの
絶叫マシンの1つで、
園内で1番速いマシンです。

ミッション考えるの
苦労しました。
実際やると
大変だろうなあゝ

逃走者は無事にクリアできるのか？

MISSION 1 (2) (前書き)

いつもより
長いです。

暗闇の中、
発光し続ける逃走者・・・

しかも、

解除には同じ色に光る者同士のカードキーが必要！

かなり難しいミッションに
どう逃げるか？

MISSION 1 (2)

あやの「かなり捕まりやすくなっちゃった…」

レジャーエリアの

レストランストリートにいた峰岸あやの・・・

あやの「誰かいないかな…？」

だれか・・・

たまき「…あつ、光ってる！青色だ！ラッキー！」

いた・・・

あやの「いた！」

無事合流・・・

たまき「やった！」

あやの「解除しましょう！」

カシャッ、ピー

カシャッ、ピー

峰岸あやの、山辺たまき
クリア

たまき「よかった…」

あやの「じゃあ、がんばってください。」

わかれる2人・・・

ピリリッ

あやの「！びっくりした！」

電話だ・・・

あやの「みさちゃんだ…」

ピッ

みさお「あやの、解除しようぜ」

あやの「ゴメン。今やっちゃった…」

みさお「ええ、マジかよ」

あやの「…みさちゃん、その前に何色？」

みさお「何色って？」

あやの「光ってる色」

みさお「緑だけど…」

あやの「わたし青だから、どっちにしても無理じゃあ……」

みさお「…えっ!？」

あやの「…同じ色同士でやらないと意味がないって…」

ミッションを理解してない日下部みさお・・・

みさお「そっか…んじゃ。」

ピッ

みさお「…同じ色同士かぁ」

先行き不安だ・・・

アトラクションエリア

急転直下付近にいた

田井中律・・・

律「ムギが漣に聞いてみるか…」

ピリリリッ

紬「電話…りっちゃんから」

律「ムギ?ミッション、ミッション」

紬「あ、はい。りっちゃんは何色ですか?」

律「私は黄色」

紬「私もです！」

律「じゃあ、やろうぜ。」

紬「私は今メリーゴーランドの近くなので……」

律「おっ、近い近い。」

紬「観覧車で会いませんか？」

律「オッケー」

田井中律と解除しに観覧車に向かう琴吹紬……
その近くに……
ハンター……

ピーーーーー

紬「……こっち……!!」

見つかった……

紬「……っ！キヤア！」

暗闇で発光しているため、
振り切るのは容易ではない……

紬「キャア！」

ボワン

琴吹紬 確保

残り19人

残り時間68分11秒

紬「…気付きませんでした…真っ暗でわかりませんでした…」

ピリッピリッピリッ

漣「ムギ捕まった！」

みゆき「紬さんが捕まりました…」

律「！えっ！？…ベストどうすんの？」

振り出しだ・・・

グリーングリーンに

やってきた平沢唯・・・

唯「誰かいないかなあ…」

和「あつ、光ってる。だれ？」

唯「いたっ。」

和「…唯！？」

唯「あつ！和ちゃん！！」

和「しーっ。静かにして」

唯「ゴメンゴメン。ミッションやる。」

和「うん。」

カシャッ、ピー
カシャッ、ピー

平沢唯、真鍋和 クリア

唯「やった！」

和「静かにしてって」

現在、青色のベストを
止めてないのは、
柊かがみのみ・・・

かがみ「誰かいらないかな？」

自動的に柊かがみは
発光を止めるのは不可能となった！

かがみ「つかさはどうしてるんだろ？」

その事をかがみは知らない・・・

アトラクションエリア
フリーザーゾーンの近くに・・・

みゆき「泉さんに連絡を…」

高良みゆきだ・・・

ピリリリッ・・・

こなた「みゆきさん？」

みゆき「泉さん解除しました？」

こなた「まだだよ。」

そこに・・・

みなみ「！みゆきさん。」

岩崎みなみだ・・・

2人とも赤色だ・・・

みゆき「あつ、すみません。後でまた…」

こなた「切られた…」

みゆき「みなみさん、カードキー。」

みなみ「はい。」

カシャッ、ピー

カシャッ、ピー

高良みゆき、岩崎みなみ
クリア

みゆき「助かりました。」

みなみ「…いえ。」

みゆき「？」

先ほどの罪悪感があるようだ…

電話を切られた泉こなたは…

こなた「みさきちにかけてみるか…」

ピリリッ

みさお「おっ、ちびっ子だ。」

ピッ

みさお「なに？」

こなた「解除した？ベスト」

みさお「まだ。」

こなた「あつ、ベスト何色？」

みさお「緑。」

こなた「じゃあ、ダメだ」

ピッ

みさお「…切りやがった」

こなた「いないなあ…」

セントラルエリア
パールキャッスルに…

かがみ「ヤバい、ヤバい」

柊かがみだ…

かがみ「はやく解除しないと…」

だが、青色の光は
かがみ1人だけ…
解除はできない…

かがみ「周りも光ってる人いないし」

暗闇のため、
逃走者が光ってる場合見つけやすい。

ピーーーーー

しかし、それは・・・
ハンターにも見つかりやすいということだ・・・

ピーーーーー

ハンターに・・・
見つかった・・・

かがみ「…電話しよ…う？…イヤッ!!」

一目散に逃げるかがみ
だが、

かがみが逃げた先に・・・
別のハンター・・・

かがみ「イヤッ、こっちも!」

はさまれた・・・

かがみ「キャッ!」
ボワン

柊かがみ 確保

残り18人

残り時間6分23秒

かがみ「そんな、解除できなかったし、ハンターが見つかるし、もう悔しい！」

つかさ「確保：お姉ちゃん捕まっちゃった！」

こなた「かがみんも捕まった…」

憂「どんどん捕まってる…」

発光中に暗闇の中を

動くのは危険だが、

動かなければ発光を

解除できない！

そんな中、

漣「動けないよ、だけど、動かないと解除できないし…」

未だ解除できてない漣・・・

まだ動いてなかった・・・

と、そこに・・・

こう「！いたつ、緑の光だ！」

漣と同じ色に光る

こうが通りかかった！

漣「！ひっ、あっ、違う。ハンターじゃない。」

こう「解除！解除！」

漣「はいっ！」

カシャッ、ピー

カシャッ、ピー

八坂こう、秋山漣 クリア

こう「あゝ、助かった。ありがとうございませう。」

漣「良がった」（泣）

こう「！！泣かないで、泣かないで。」

漣「ありがとう」（泣）

こう「いえ、そんな。」

つかの間の安心から

泣き出す漣と

うるたえるこう・・・

こう「私いますから、いますから、泣かないでください。」

しばらく行動を共にするようだ・・・

こなた「みんなどこにいるのかな？」

逃走者を探しにターボスピダーに来た泉こなた・・・

みゆき「泉さん？…泉さん！」

こなた「ああ、みゆきさん！あれっ、解除したの？」

みゆき「はい、先ほどみなみさんと…」

こなた「みなみちゃんと会えたんだ」

みゆき「泉さん電話を突然切ってしまつてすみませんでした…」

こなた「いいよ、いいよ。気にしてないし。」

みさお「ちびっ子」

こなたはかなり気にしてる・・・

みゆき「泉さん早く解除しないと、危ないですよ。」

こなた「だけど、誰にも会えなくてねえ…赤色の人誰かわからないし…」

みゆき「…じつは私たちも赤でした…」

こなた「ええっ、うそっ！」

みゆき「すみません…」

泉こなたと高良みゆきの
いる場所の反対側には・・・

梓「純と憂は、何色のベストかな？」

梓だ・・・

梓「近くにいないかな？」

近くにいる・・・

梓「純に電話しよ。」

ピリリッ

梓「わっ、かかってきた。純からだ。」

ピッ

純「梓？ベスト何色？」

梓「赤だよ。」

純「！やった。解除できる。今どー？」

梓「ターボスピダーの近く…」

純「急いでそっち行く。んじゃ。」

ピッ

梓「あつという間に…話が進んじやつた。」

反対側にいる

泉こなたは、

こなた「じゃあ、あつちの方を探すから。」

みゆき「お氣をつけて」

こなた「じゃ〜ね〜」

こなたが進む先は

反対側……

つまり……

梓がいる場所だ……

梓「…あつ、赤色の光！」

ようやく気付いた……

こなた「誰かいた！」

梓「すいません、カードやりません？」

こなた「やるやる。」

梓「どうぞ。」

カシャッ、ピー

こなた「やった！はい。」

カシャッ、ピー

梓「よかった。消えた。」

中野梓、泉こなた　クリア

純「ここはミラーワールドだから…」

梓がクリアしたため、
交換出来なくなった純・・・
一足遅かった・・・

その近くで、

いずみ「あつ、いた！」

いずみが純を発見した・・・

純「んっ？」

いずみ「カード！カード！」

純「いたいた。」

2人の近くに・・・
ハンターだ・・・

いずみ「はやくやりましょう」

純「うん。…！ハンター！！」

いずみ「！えっ！？」

ハンターも気付いた・・・

いずみ「ヤバイ！」

純「嘘でしょ！？」

二手に分かれて逃げるいずみと純

ピーーーーー

ハンターが視界に捕えたのは・・・

いずみ「！こっち来た〜！」

若瀬いずみだ・・・

いずみ「ああ〜！」

ボワン

若瀬いずみ 確保

残り17人

残り時間63分05秒

純「ハアッ、ハアッ…危なかった…」

いずみ「嘘でしょ、悔しい…」

パティ「イズミがツカまりマシタ。」

みなみ「捕まるペースが早い…」

つかさ「どうしよう…はやく解除しないと…」

純「今チャンスだったのに…」

現在、

解除できていないのは
この7人・・・

赤

鈴木純

黄色

柊つかさ

永森やまと

田井中律

緑

日下部みさお

パトリシア・マーティン

平沢憂

この時点で

赤は鈴木純1人のため

解除出来なくなった！

黄色と緑も

3人ずつのため

1人は解除出来ない！

逃げ切る事はできるのか！

MISSION 1 (2) (後書き)

パールキャッスルは
セントラルエリアにある
シンボルとも言えるお城です。
普段は展望台として
つかわれています。

ミラーワールドは
アトラクションエリアの
室内アトラクションの1つです。
いわゆる、ミラーハウスです。

フリーザーゾーンは
室内アトラクションの1つです。
大型冷凍庫並みの寒さを
誇る、夏季に大人気だが、冬はからつきし・・・
中は幻想的な雰囲気
に包まれている。

ワイワイ広場は
イベントエリアにある
ヒーローショーが
行われたりする子ども向けの広場です。
(大きなステージもあります。)

アトラクション説明は

この辺で・・・

どんどん確保される

逃走者達・・・

解除できていない7人は

いったいどうなってしまうのか！

MISSION 1 (3) (前書き)

前回、後書きに

急転直下の説明を

忘れてました・・・

すみませんでした・・・

MISSION 1 (3)

現在、

解除できていないのは7人

赤は

鈴木純1人

黄色は

柊つかさ

永森やまと

田井中律の3人

緑は

日下部みさお

パトリシア・マーティン

平沢憂の3人

赤の鈴木純は

同じ色の人がいなかったため

解除出来ない・・・

黄色と緑も

3人ずつのため

1人は解除出来ない・・・

ピリッピリッピリッ

律「！何だよ！」

メールだ・・・

やまと「現在の状況？」

つかさ「『現在解除できていないのは7人。その者の色と名前を載せた。』」

律「私たちの名前…あつ、これに載ってる人にかければいいんだ！」

純「…あれ？…もしかして、私解除出来ない？」

出来ない・・・

純「うそ〜」

うそでは・・・
ない・・・

つかさ「急がないと…やまとちゃんに…」

ピリリッ

やまと「電話…はい…」

律「解除まだですね。やりません？」

つかさ「…話し中？」

一足遅かった・・・

やまと「…いいけど…」

律「よっしゃ！今どこですか？」

やまと「パワースインガーの近く…」

律「じゃあ、そっち行きます！！近くですから、すぐに」

ブツッ

やまと「…こうみたい。」

こつ「ハックシュン！！」

漣「大丈夫ですか？（泣）」

噂された・・・

まだ泣いている・・・

つかさ「ええ、もしかして、わたしだけになっちゃった？」

ピリリッ・・・

つかさ「！！はうつ、びっくりした…電話？」

まだ解除できていない

日下部みさお・・・

みさお「やべえ、早くしないと…」

ピリリッ

パティ「…ハイ。パティです…」

みさお「カードやんね？まだ解除してねっからさ。」

パティ「あゝ…ジツは、さっきウイとやってシマイマシタ。」

みさお「！えっ！？」

そう…

通達のメールが来たとき…

パティ「？メール？」

憂「いたっ、すいません。」

パティ「ハイ？オ、ミドリのこと…」

憂「やりましょう？。」

パティ「オーケー。どうぞ」

憂「ありがとうございます。」

カシャッ、ピー

憂「私のカードです。」

パティ「Thank you」

カシャッ、ピー

パトリシア・マーティン、平沢憂　クリア

パティ「ヨカッタです」

憂「そういえば、さっきメール」

パティ「ワタシにも」

憂「『現在解除できていないのは7人。』…えっ!？」

パティ「オ」

憂「みさおさん…まだ…緑1人になっちゃいました…ね…」

パティ「ソーリイ…」

そして、今…

パティ「というワケです…ソーリイ…」

ピッ

みさお「…じゃあ、解除は…?」

出来ない…

みさお「やべえ〜（泣）」

アトラクションエリアの
パワースイッガーに向かう
田井中律・・・

律「あつた！」

やまと「…来た。」

律「…あそこだ。」

無事に会えた・・・

律「よかった！早くやりましょう。」

やまと「待つて…」

律「えっ？」

やまと「メールでは黄色は残り3人よ…今ここには2人だけよ…」

律「はい…だから、1人出来なく「出来るわ…」」

律「えっ？」

やまと「…メールでは2人でやれと言ってなかったわ…」

律「はい…」

やまと「だから、3人でカードキーを交換しあえば1人も余らないわ…」

そう・・・

じつはこのミッション

2人でやれとはいっていない
だから、やり方を工夫すれば
1人も余らないのだ！

律「！！あつたま良い！！だとしたら、柊さんでしたっけ、すぐ連絡「もうしたわ！！」うそっ？」

やまと「あなたの電話のあとすぐに…つかさ先輩に電話したわ…」

律（すごい、冷静だ。先を見てる！）

やまと「あとは、つかさ先輩がここまでくればいいだけよ…」

永森やまとから電話をもらった柊つかさ・・・

つかさ「えっと、パワースインガー…ここがターボスपीダーだから…あつちだ。」

永森やまとと田井中律のいる
パワースインガーまでは
あと250m

ハンターに見つかれば
逃げ切るのは容易ではない！

つかさ「急がないと…急がないと…」

そんな、つかさの周りには
ハンター・・・

つかさ「！…大丈夫かな？」

建物の影の方に隠れたため
ばれてないようだ・・・
ハンターは別の方向に向かった！
しかし・・・

つかさ「暗くて見えないよ。怖いよ…」

動けないようだ・・・

やまと「…大丈夫かしら？」

律「大丈夫ですよ。」

やまと「…でも「信じましょう！」「…そうね」

つかさ「…いないかな？…行こう！」

パワースインガーまでは
もう少しだ・・・

つかさ「…ハアツハアツ」

残り50m

つかさ「…ハアツ…ハアツ…ハアツ」

残り25m

律「！来たっ！」

やまと「！ほんと…」

つかさ「…ハアツ…ハアツ」

3人が合流できた…

律「やったぜ！」

つかさ「ハアツ…良かった…」

やまと「早くカードキーを…」

つかさ「はい…カードキー…」

カシャッ、ピー

律「よっしゃ！ほい、どうぞ。」

やまと「…ありがとう。」

カシャッ、ピー

やまと「これで、大丈夫…」

つかさ「ありがとう。」

カシャッ、ピー

終つかさ、永森やまと、田井中律 クリア

つかさ「やった、消えた。」

律「良かったぜ」

やまと「本当に…」

律「あの…ありがとうございます。」

やまと「？なにが…？」

律「だって、3人でやれるとは思わなかったから…私だったら、2人でやってたから…だけど、永森さんは誰も見捨てずに全員助けようとしたから…」

やまと「わ、私は別に…」

つかさ「本当にそうだね。私もそうだったよ。やまとちゃんありがとう」

やまと「べ、別にそんなつもりじゃ…わ、私はただ、3人でもできるな、と思ったただけで…」

つかさ「ありがと」

やまと「……っ　も、もう行くから…」

そう言っただけで離れるやまと…

つかさ「ああ、いつちゃった…」

律「じゃあ、私達も…」

つかさ「そうだね。じゃあね。」

これで、

解除できていないのは
2人だが…

同じ色同士ではないため
解除が出来ない！

純「暗くてハンターが見えないし、光ってるし、どうしよう…」

解除が出来ず途方にくれる

鈴木純…

みさお「…自首すっかな？」

自首を考える

日下部みさお・・・

ピリッピリッピリッ

純「わっ、もうなに〜」

メールだ・・・

みさお「通達？『解除出来なくなった者に朗報。停電のとき、警備員が入口に落とし物をした。』えっ？」

純「『それは、カードキー3枚。そのカードキーをつかえば、どの色に発光していても解除できる。』ほんと〜！？」

みさお「よっし。入口に急げ〜！」

通達1

警備員が停電騒動で

カードキーを3枚落としていた。

そのカードキーをつかえば

どの色に発光していても

解除できる。

いま現在、

鈴木純は

セントラルエリア、

花時計付近に

日下部みさおは

アトラクションエリア、

パニックスプラッシュ付近にいる。

2人の入口までの距離は

そう遠くない。

2人にとっては

大チャンスだ・・・

しかし、

ハンターは神出鬼没・・・

どこから出てくるか

わからない・・・

みさお「あっちであってんだよな・・・」

純「入口は・・・」

入口に向かう2人の逃走者・・・

しかし・・・

ピーーーーー

ハンター・・・

見つかったのは・・・

純「こっち・・・!!うそ!!」

鈴木純だ・・・

純「イヤだー！」

それを目撃した

日下部みさお・・・

みさお「追っかけられてる…今のうちに」

その隙に

日下部みさおが

入口へ向かう！

純「やめてー！」

ピーーーーー

純「イヤッ！」

ボワン

鈴木純 確保

残り16人

残り時間60分11秒

純「ふえーん…入口行けなかった…」

みさお「着いた！カードキーは？あ、あった！」

落ちてたカードキーを入手！

カシャッ、ピー

日下部みさお　クリア

みさお「ハア、やったぜ。」

これで、

逃走者全員が

発光を止めた・・・

こなた「停電っていつ復旧するのかな？」

それは誰にもわからない・・・

憂「真っ暗だから、闇に紛れるからいいなあ。」

完全な暗闇のため

逃走者にはつかの間の間の休息だ・・・

その一方で牢獄では・・・

MISSION 1 (3) (後書き)

急転直下は

アトラクションエリアにある絶叫マシンの1つ。

寝そべった状態から発車し

頭の方に急発進し、

あとはフリーホールのように上昇して急下降する。

パニックスプラッシュは

アトラクションエリアにある絶叫マシンの1つ。

水しぶきがすごい、

唯一の水系アトラクション

パワースインガーは

アトラクションエリアにある乗り物系アトラクション。

遠心力を利用した乗り物である。掛け声は『レッツ、スイング!』

アトラクション説明は

ここまで・・・

まさか・・・

リリカルショーバイさんがからくりを解いてしまつとは・・・

結構考えたのに・・・

だが、まだまだ!

小説はまだ序盤です!

どんどんいくぞー!

最後に皆さん

こんな小説に感想を
書いてくださって
ありがとうございます。

次回は

牢獄DEトークです。
お楽しみに〜

牢獄DEトーク（前書き）

バイトが忙しいなあ・・・
けど、出来ました！

牢獄の人たちの会話

牢獄DEトーク

セントラルエリア、
女神の噴水近くに
設置された牢獄では・・・

いずみ「メールが来ないということは、みんなミッションクリアしてるんですね〜あの暗闇の中を・・・」

純「それに比べて私たちは・・・」

かがみ「言わないでよ・・・（泣）ああ〜、悔しいなあ〜」

みく「そっちはまだいいですよ・・・私は暗くなる前に捕まりましたよ・・・」

ひより「まだいいですよ。私は始まってすぐ捕まったんですから〜（泣）」

いずみ「私はもう少しはやく出会えてたらなあ〜・・・」

純「ミッションクリアできましたよねえ〜・・・」

かがみ「日下部もクリアしたのよね、きっと」

いずみ「？意外何ですか？」

かがみ「ちゃんと内容を理解していたかどうかよ。」

みさお「ヘックシヨイ!…ハンターいねーよな?」

みく（いまクシャミがきこえたような気が…）

かがみ「まあ峰岸に聞いたりしたか、教えてもらったかしたでしょうね。」

紬「…あの…?」

ゆたか「どうしたんですか?」

紬「…先ほどから疑問に思っていたのですが…いつまで真っ暗のままなのでしょうか…?」

ゆたか「…そういえば…そうですね。」

かがみ「ずっと真っ暗…なわけないわね。」

その頃、

警備員たちは

停電の原因を探るために

電源装置を調査していた…

牢獄DEトーク（後書き）

ミッションはクリア・・・

しかし、未だ復旧してない照明・・・

そんなとき新たな異変とミッションが続けざまに起こる！

く後悔の涙く遊園地の事件く（前書き）

3年前なにが起こったのか・・・
少しだけ触れます・・・

こつこつの苦手です・・・

後悔の涙―遊園地の事件―

管理室にある電源盤の部屋では、
停電の原因を探る

警備員とチェリストの佐竹がいた。

佐竹「…どうですか？」

警備員「…おかしいなあ…どこもおかしくない…」

佐竹「…それって？」

警備員「見たかぎり原因がないです…正常なのに、異常事態が起こってます…いったいなぜ？」

佐竹「…まさか、あいつが…？」

警備員「あいつ？」

佐竹「聞こえたんです。あの時、奏の声が…」

警備員「奏って…まさか、3年前の？」

佐竹「ええ。」

警備員「そんなまさか、だってその方は…」

佐竹「亡くなってます…3年前に…」

そう、

それは3年前のことだった・・・

4人の音楽家による

コンサートがあった。

しかし、

それは突如起こった事件によって壊されてしまい、

4人によるコンサートは

永久に開催出来なくなってしまった・・・

その事件とは

コンサート出演者の

フルート奏者の女性が

不慮の事故で亡くなったこと。

しかし、

事件はそれで終わらず

ピアノ奏者の男性と、

バイオリン奏者の女性も

相次いで亡くなったのだ。

連続で人が亡くなったため

殺人ではないかと思われたが、証拠もなかったため事故で処理されたのだ・・・

警備員「…奏さんはそのときに亡くなったバイオリニストの方でしたね…」

佐竹「ええ。」

警備員「…あの事件は本当にただの事故…だったんですか？」

佐竹「…事故でした。…奏以外は…」

警備員「えっ！…それっていったい？」

佐竹「！はなしが脱線しましたね…今はそれより、はやく停電をなんとかしましょう。」

警備員「あ…はい…」

（佐竹さん…何か隠してる…）

ミュージックホール内、

奏「クスン…クスン…」

悲しみにくれる奏の姿があった…

奏「ごめんなさい…ごめんなさい…」

誰かに謝るかのように

謝罪の言葉をつぶやく奏…

そして、

園内に設置された

封印されたハンターボックスが6つ…

ピーー！カシャン！

ハンターボックスに

電源が入った！

悲しみに包まれた彼女の想いと念が
逃走者に新たな試練として
立ちはだかる・・・

く後悔の涙く遊園地の事件く（後書き）

新たなミッションが始まる！
逃走者に安息の時間はない・・・

MISSION 2 (1) (前書き)

奏の後悔の念が

ミッションとなって

逃走者に立ちはだかる・・・

MISSION 2 (1)

ピリッピリッピリッ

みさお「！うおっ！びつくりした！何だ？」

メールだ・・・

みさお「『MISSION 2』！？早くね？」

律「『エリア内6ヶ所にハンターボックスを設置した。』6ヶ所！？」

やまと「…多いわね。『時限装置に電源が入ったため』」

和「『残り45分になると扉が開放され、ハンターがエリア内に放出される。』」

唯「6体も！？」

あやの「『阻止するにはボックスの横にあるスイッチをオフにしなければならぬ。』」

みゆき「『なお、ハンターボックスの場所は、それぞれ』」

憂「『超迷宮、フリーザーゾーン』」

こう「『恐怖の館、ワイワイ広場』」

みさお「レストラン…オ、オセアン？」

パティ「『レストランオーシャン、パールキャッスルの』」

こなた「『6ヶ所だ。』バラバラだあ」

梓「『急ぎたまえ。』えっ、暗いから時間かかるって…」

みなみ「…」

つかさ「ええ、怖いよ」

MISSION 2

ハンター放出を阻止せよ！

エリア内6ヶ所に

仕掛けられたハンターボックスの时限装置のスイッチが入ってしまった。

残り45分になると、

ボックスが開放され

ハンターがエリアに放出される。

阻止するには、

ハンターボックスの横にあるスイッチをオフにしなければならない。

ハンターボックスは

超迷宮

フリーザーゾーン

恐怖の館

ワイワイ広場

パールキャッスル

レストランオーシャンに
存在する。

そして、

この6ヶ所のみ建物内に
入ることができる。

いま現在、

残り時間57分45秒

およそ12分後に

扉が開放されてしまう。

つかさ「6体出て来たら、絶対捕まっちゃうよ」

ハンターの数におびえる

終つかさ・・・

つかさ「ここどこ？目の前はメリーゴーランドでしょ、ミラーワ
ールドはさっき通ったから…あっ…」

何かに気付いた・・・

つかさ「もしかして、ここフリーザーゾーン？」

その通りだ・・・

つかさ「じゃあ、行かなきゃ…」

しかし・・・

このときすでに

奏はミュージックホールから、パールキャッスルに
移動していた・・・

奏のこの行動が
ミッションを

更に過酷なものにしてしまったことを誰も知らない・・・

MISSION 2 (1) (後書き)

ミッションが過酷になった？

それは一体どうしたことなのか・・・

MISSION 2 (2) (前書き)

更に過酷になったミッションに逃走者はどう挑む！

MISSION 2 (2)

偶然、

フリーザーゾーンにいた

柊つかさ・・・

つかさ「！寒い！！」

- 10度の寒さが彼女を襲う・・・

つかさ「うう、ハンターボックスどこ？」

そして、

他の逃走者も・・・

やまと「…超迷宮に行ってみますか。」

律「よし、ここからだ！…レストランに行くか。」

ミッションに挑む・・・

恐怖の館付近に・・・

こう「…あの？」

澪「なに？（泣）」

まだ泣いてた澪と共に行動してたこうだ・・・
偶然にもハンターボックスに近い場所にいた・・・

こう「ここにハンターボックスがあるみたいなんですけど…」

漣「…ここどこ？」

こう「恐怖の館」

漣「いやっ！絶対行かない！」

こう「だから、1人で「離れないで！」」

こう「…どうしよう。」

ミッションに行けない・・・

つかさ「あ、あつた！」

ハンターボックスを見つけたようだ・・・

つかさ「これだね。」

カシャン！

つかさ「よかった…」

封印され・・・

ピーーー！カシャン！

つかさ「！ええっ！？」

なかった・・・

つかさ「どうなってるの？オフにしてもオンになっちゃう。」

パニックになる柊つかさ・・・

つかさ「どうしようっ…どうしようっ………そうだ。」

ピリリッ

やまと「…はい？」

つかさ「どうしようっ…スイッチが、スイッチがオフにならなくてオンになっちゃうよお。」

やまと「！落ち着いてください。どういふことなんですか？」

つかさ「あ、あのね。…ちょっと待って、寒くない所に移動する…」

やまと「…え？…フリーザーゾーンにいるんですか？」

つかさ「そうなの。…ここはあまり寒くないね。あのね、ハンターボックスを見つけたからオフにしたのに、すぐオンになっちゃうの」

やまと「すぐオンに…？え？なぜですか？」

つかさ「わかんないよお。」

やまと「…あの、」

つかさ「…ふえ？」

やまと「ハンターボックス調べてもらっていいですか？」

つかさ「ええ、なんで？」

やまと「もしかしたら、何か別の仕掛けがあるのかもしれない。
お願いします。ハンターボックスを…」

つかさ「わかった。」

再び、ハンターボックスの場所に向かう終つかさ…

つかさ「着いたよ。」

やまと「何かありませんか？変わったものとか？」

つかさ「…ええと……あつ！」

やまと「ありましたか？」

つかさ「横に…No.4って書いてある…」

やまと「…もしかして」

つかさ「え？」

やまと「順番通りにオフにしないといけないんじゃない？」

つかさ「順番通り!？」

そう、

奏がミュージックホールからパールキャッスルまで移動したため、
悲しみの念が更に加わりハンターボックスに順番がついてしまった
のだ!

ハンターボックスの順番は

No・1ワイワイ広場

No・2恐怖の館

No・3超迷宮

No・4フリーザーゾーン

No・5レストランオーシャン

No・6パールキャッスル

の順番になってしまったため、番号順にオフにしないと元に戻って
しまう!

そして、逃走者はどこが何番かも順番になっていることも知らない!

つかさ「4番だから...」

やまと「その前の3つのハンターボックスをオフにしないとダメね
...」

つかさ「ええ」

やまと「...私は超迷宮に向かいます。」

つかさ「えっ？」

やまと「つかさ先輩はほかのみんなにこの事を言ってください。いま私、超迷宮に近いのでひょっとしたら、早い番号しれないので…なのでお願いします！」

ピッ

つかさ「やまとちゃん…よし…とりあえず、寒くない所に移動しないと…」

一方その頃、

No.1のハンターボックスがあるワイワイ広場付近には…

唯「どこかな？」

和「あれじゃない？」

唯と和だ…

ワイワイ広場の
ハンターボックスは
ステージの中央だ…

唯「…あつた。」

和「これね。」

カシャン！

No.1封印・・・

これにより、No.2の
ハンターボックスがオフにできるようになった・・・

ピリリッ

唯「んっ？電話だ・・・」

ピッ

唯「はい？」

つかさ「もしもし。柊つかさです。」

唯「平沢唯です。」

つかさ「あのハンターボックスなんですけど・・・」

唯「ああ、1個解除しましたよ。」

つかさ「ええ、本当に？」

唯「？はい。」

つかさ「オフからオンにもどったりしてませんか？」

唯「？大丈夫ですよ。」

和「？？かわるうか？もしもし、真鍋和です。どうしたんですか？」

つかさ「あ、もしもし。じつは、順番通りにハンターボックスのスイッチをオフにしないとダメみたいで。それを伝えようと思って…」

和「ええ！それ本当ですか？」

つかさ「うん。ハンターボックスに番号があるはずですけど…」

和「…本当だわ。No.1って書いてある。なるほど…だから、オフにできたんだ。わかりました。みんなにも気をつけるように言います。」

つかさ「ありがとう。それじゃあ、気をつけて」

ピッ

唯「何だったの？」

和「このミッションが難しいということを教えてくれたわ。」

唯「？」

レジャーエリアの

レストランストリートを目指す田井中律…

律「オーシャンって…どこだ？」

そこにいたのは…

あやの「…誰？」

峰岸あやのだ・・・

律「田井中律です。」

あやの「よかったあ。ハンターじゃなくて…」

律「あ、オーシャンってどこですか？」

あやの「私も向かってるの。一緒に行きませんか？」

律「はい。」

あやのと合流し、

レストランオーシャンに向かう。

が、ハンターボックスのナンバーは5。

まだオフにできない・・・

恐怖の館にいる

こうと漣・・・

こう「あの…このままだと、ハンターがふえちゃうんですが…」

漣「…うん。でも…」

まだ、中に入ってなかった・・・
そこに現れたのは・・・

梓「！にゃっ！？」

漣「！ひっ！！」

こう「！うわっ！！」

中野梓だ・・・

梓「び、びつくりした…」

こう「こ、こっちのセリフだって！」

漣「……………」

梓「…！漣先輩！大丈夫ですか？」

漣「…だ…大…丈…夫…」

には見えない・・・

梓「あれ？ここですよ？恐怖の館って」

こう「そうだよ。」

梓「なんで入らないんですか？」

こう「いや、入りたいんだけど…」

漣「は、入るよ！」

こう「えっ!？」

漣「は、早く行こう。」

梓「わかりましたけど、押さないでください。」

こう「…ま、いつか。」

後輩が来て情けない姿を見られたくないようだ…

超迷宮に着いた永森やまと…

やまと「…まさか、中にあるんじゃない？」

その通り…

やまと「ええ!？時間かか…あ、あつた。」

入り口のすぐそばだが…

やまと「…No.3…スイッチをやってみないと…」

だが、No.2のボックスはまだオフになっていない…

カシャン!

ピーー!

カシャン！

やまと「ダメ…戻った。まだオフになってない。」

現在、

オフになっている

ハンターボックスは

1つだけ・・・

このままだと、

ハンターが5体放出されてしまう・・・

残り45分まであと9分・・・

逃走者達の運命は？

MISSION 2 (2) (後書き)

超迷宮は

アトラクションエリアにある迷路です。

階段も多く広いため

なかなか出れない・・・

タイムアタックがあり

上位の人には商品が

プレゼントされる。

ハンターボックスに

順番という仕掛けが追加され過酷になるミッション・・・

逃走者達はどう切り抜けるのか？

MISSION 2 (3) (前書き)

過酷になったミッション…
ハンターボックス残り5つ
残り45分までに
電源をオフに出来るのか？

MISSION 2 (3)

恐怖の館に入る中野梓、秋山漣、八坂こう・・・

梓「うわゝ、怖い・・・」

漣「ハ、ハ、ハンターボックスは、ど、どこ？」

こう「もつと奥じゃないですか？」

おびえる梓と漣、

そして、気楽に向かうこう・・・

超迷宮にいる永森やまと・・・

やまと「・・・こうに電話しよう。」

ピリリッ

こう「！うわっ！・・・」

梓「！にゃっ！・・・」

漣「！・・・！・・・」

こう「で、電話・・・」

ピッ

やまと「もしも「びつくりしたって!!」」

やまと「!!!?…急になに?」

こう「こっちのセリフだよっ!何なの!?!」

やまと「…今どこ?」

こう「恐怖の館!」

やまと(だからびつくりしたのか…!)「じゃあ、ちょうどいいわ。
ハンターボックスなんだけど、1から順にやらないと意味がないみ
たいなの…」

こう「…え!?!うそっ、聞いてないよ!?!」

やまと「メールで知らされていないことが起こってるみたい…そっちは何番?」

こう「まだ見てない。ハンターボックス見たら教えるから。」

やまと「…わかった。」

ピッ

こう「もう、このタイミングで電話鳴らすなって!?!あれ?」

こっこの電話中に梓と澪は…

梓「…澪先輩…勝手に外出ちゃっていいんですか？」

澪「怖い怖い怖い怖い…」

館の外に出てた・・・

こつ「おいてくことないのに…」

仕方なく1人で探索・・・

こつ「あつた！…えつと、N o ・ 2 か。…やっていいよね。」

カシャン！

N o ・ 2 封印・・・

こつ「よしっ。んじゃ、やまとに…」

ピリリッ

ピッ

やまと「…どうだった？」

こつ「オフになったよ。N o ・ 2 だった。」

やまと「…わかったわ。…ありがとう。」

ピッ

こう「あつ、切った。」

やまと「たぶんこれで!」

カシャン!

No.3 封印・・・

やまと「... やつぱり。これでつかさ先輩も大丈夫のはず... 電話を...」

ピリリッ

ピッ

つかさ「やまとちゃん?」

やまと「つかさ先輩... No.3、オフに出来ました。そっちも大丈夫のはずです。」

つかさ「わかった。やってみる。」

ハンターボックスに戻るつかさ・・・

つかさ「せゝのっ」

カシャン!

No.4 封印・・・

つかさ「... やった! 出来たよ。」

やまと「…良かった。」

つかさ「やまとちゃん。また助けてくれてありがとう。」

やまと「！いえっ、あのっ、き、気をつけてくださいね。」

ピッ

つかさ「切れちゃった…寒いから早く出よう…」

これでハンターボックスを4つオフにできた…

残りは2つ…

レストランに向かうあやのと律…

あやの「この辺のはずだけど…」

律「似たような建物が多くてわかんね」

迷っていた…

その近くにハンター…

律「えっ？ど…！？ハンターいます。」

あやの「えっ！？」

しかし、ハンターは気付いてない・・・

律「……気付いてないみたいです。」

あやの「暗いから、隠れられるしね。」

その近くに・・・

たまき「危ない危ない。」

たまきもいた・・・

たまき「2人いるなら、ミッションはいいや。」

ミッションには参加しないようだ・・・

レジャーエリアのショップで同じように隠れる・・・

みさお「ハンターいねーな。」

日下部みさお・・・

みさお「ミッション…誰かやるよなあ、ちびっ子とか」

そのちびっ子も・・・

こなた「…みさきちならやってるでしょ。」

他人まかせ・・・

みゆき「フリーザーゾーンに…」

ミッションに向かう

高良みゆき・・・

だが、フリーザーゾーンはすでに柵つかさがクリアした・・・

観覧車に隠れてる平沢憂・・・

憂「行かなきゃ…けど…」

動けない・・・

未だフリーザーゾーンにいる柵つかさ・・・

つかさ「電話しないと…」

ハンターボックスに関する情報をほかの逃走者に伝えるために電話をするつかさ・・・
かけた相手は・・・

ピリリッ

律「！びつくりした…」

律だ・・・

ピッ

律「なんだよ！」

つかさ「ふえうー!？」

律「あつ…すいません。柊さん…どうしたんですか？」

あやの「?ひーちゃんから？」

つかさ「あつ、あのね、ハンターボックスに順番があつて…」

律「はい？」

つかさ「順番通りにオフにしないとダメなんだって…」

律「!えっ、そうなんですか!？」

つかさ「でね、いま4つ目をオフにできたの。」

律「…てことは次は5つめですか？」

つかさ「たぶん。いまね。フリーザーゾーンと超迷宮のボックスがね。」

律「クリアしたんですか？」

つかさ「うん。」

律「じゃあ…!?!ごめんなさい」

ピッ

つかさ「あれっ！？大丈夫かな？」

律「……ヤバイ。また来た。」

あやの「……」

ハンターが律とあやのに接近・・・

律「……」

あやの「……」

・・・

見つからなかったようだ・・・

律「……ふう〜」

あやの「……危なかった〜」

つかさ「大丈夫かな〜？」

ガチャッ！！！！

つかさ「はうっ！！！」

みゆき「！！！」

みゆきだ・・・

つかさ「ゆきちゃん…びっくりしたよぉ」

みゆき「すみません…」

つかさ「どうしたの？」

みゆき「ハンターボックスのミッションをと思いまして…つかささんがこちらにいらっしゃったということとは…」

つかさ「うん。さっきオフにしたところ。」

みゆき「そうでしたか…」

そして・・・

超迷宮に・・・

みなみ「…あった。」

岩崎みなみだ・・・

みなみ「…この中に？」

やまと「！誰か来た！」

迷宮の中に隠れるやまと・・・

みなみ「…あつ、クリア…してる…」

やまと「…良かった…あの…」

みなみ「！…あつ」

やまと「いまさっきやりました。」

みなみ「そうですか。」

静かな2人が出会った・・・

律「！あつた！ここだ！」

あやの「やった！」

ようやくレストランオーシャンを見つけた律とあやの・・・

カチャッ

キーン

律「あつた。」

あやの「ハンターが来ないか見てます。今のうちに…」

律「はい。けど、順番って言ってたからなあ…あつ、No.5だ。オフに出来る。」

カシャン！

No.5 封印・・・

律「やった！やりましたよ。」

バンッバンッバンッ

律「！何！？」

あやの「外が・・・」

突然響いた音・・・

残り45分まであと4分
一体なにが起きたのか？

MISSION 2 (3) (後書き)

突然響いた音の正体はいつたい？

MISSION 2 (4) (前書き)

エリアに響いた音・・・

これが、

ありえない事態へと陥ってしまう・・・

MISSION 2 (4)

バンッバンッバンッ

律「！何！？」

あやの「外が…」

突然響いた音・・・

この音の正体とは・・・

時はすこしさかのぼる・・・

管理室の電源盤の部屋で、

警備員「！ここだ…コードが入れ替わってたのか…」

そう・・・

まさに5つ目の

ボックスの電源を

オフにしたのとほぼ同時に・・・

警備員「よしっ、これで。」

ガチャン！

バンッバンッバンッ

この音と同時に・・・

あやの「外が…明るくなった…」

律「うそっ！」

照明が復旧した・・・

これが波乱のはじまりだった・・・

バンッバンッバンッ

こなた「！なに！？」

みさお「！なんだ！？」

みなみ「！」

やまと「！えっ！？なに？」

つかさ「！はうっ！」

みゆき「！何ですか！？」

パティ「！！What's！？」

こう「！えっ！？」

たまき「！明るくなった！？」

唯「！わっ！？」

和「！うそっ！？」

漣「！ひっ！？な、なに！？」

梓「！電気ついた！」

憂「！えっ！？どうして！？」

牢獄でも・・・

牢獄全員「！わっ！？」

かがみ「！なんで急に電気が？」

ゆたか「突然すぎますよ！」

ピリッピリッピリッ

メールだ・・・

たまき「何？『通達2』！？」

やまと「『警備員が電気の復旧に成功した。』」

こう「『そのため、これより照明がついた状態で』」

こなた「『ゲームを行う。』!?'」

みさお「ヤバイじゃん!」

通達2

警備員が照明の復旧に

成功したため、

これより照明がついた状態でゲームを行う。

この騒動で

パニックが起こる!

ワイワイ広場にいた唯と和の近くに・・・

唯「ええ、どうしよう!?'」

和「落ち着きなさい、唯」

ハンター・・・

明るくなつたせいで・・・

見つけた・・・

ピーーーーー

和「…！ハンター！」

唯「キャッ！！」

ハンターが視界に捕らえたのは…

唯「ヤーー！」

唯だ…

唯「イヤッ！」

ボワン

平沢唯 確保

残り15人

残り時間48分47秒

レジャーエリア、

レストランストリートでは…

たまき「うそでしょ！急すぎるって！」

たまきの近くに…

ピーーーーー

ハンター…

たまき「ヤバイって…」

ピーーーーー

たまき「ヤバ……イヤ……！」

見つかった……

たまき「イヤ……！」

ボワン

山辺たまき 確保

残り14人

残り時間48分45秒

恐怖の館から逃げた澪と梓……

梓「澪先輩！ここイベントエリアの近くですよ！もどきましょうよ。」

「

澪「もういや」（泣）」

2人の近くに唯を確保し、
和を見失ったハンター……

ピーーーーー

見つかった……

梓「……ハンター来たー！」

澪「……えっ！」

ドシャツ

澪「…いたい」

こけた・・・

ボワン

秋山澪 確保

残り13人

残り時間48分28秒

たまきのすぐ近くに・・・

みさお「やべえ」

日下部みさおだ・・・

そして、もう1人・・・

こなた「ええ」!

泉こなただ・・・

更に、

別のハンター・・・

こなた「ヤバイ、こっちに・・・」

たまきを確保したハンターが・・・

ピーーーーー

こなたに気付いた・・・

こなた「！うわっ！」

みさお「！やべえっ！」

別の方向に逃げるみさお・・・

だが・・・

みさお「！！うわっ！」

別のハンターに気付かれた・・・

こなた、みさお「うわー！っ！」

ドンッ

2人が鉢合わせ・・・

ボワンボワン

日下部みさお、泉こなた 確保

残り11人

残り時間48分24秒

唯「ええっ！捕まっちゃった」（泣）

たまき「もう明るくなったからばれたじゃん！」

澪「腰抜けた・・・（泣）」

みさお「いつてゝし、捕まるし、もーっ!」

こなた「みさきちにぶつからなきゃ・・・」

一気に5人確保・・・

ピリッピリッピリッ

梓「ええっ!...5人も確保!? 澪先輩も捕まった...」

和「唯捕まった! 明るくなつてすぐに!」

憂「お姉ちゃん!」

牢獄でも・・・

かがみ「...!! ええゝゝっ!」

純「? どうしました?」

かがみ「...一気に5人捕まった...」

かがみ以外の牢獄「ええゝゝっ!」

ひより「だれが捕まったんですか?」

かがみ「平沢唯、山辺たまき、秋山澪、日下部みさお、泉こなた…」

ひより「ええっ、なんで？」

みく「まとまって近くにいたとか？」

いずみ「3人がかり…とかでしょうか？」

かがみ「これヤバイんじゃないの？」

たまき、みさお、こなたの確保シーンを建物から間近で見た…

律「…い、一気に…」

あやの「みさちゃんが…」

律とあやのだ…

まだ2人の近くにはハンターが2体…

律「しばらくここにいましょう？」

あやの「…（コクコク）」

動けない…

5人の確保を知ったつかさとみゆき…

みかさ「…ゆきちゃん…（泣）」

みゆき「大変なことになりましたね。」

こちらも動けない・・・

ハンターボックスはあと1つ・・・

しかし、5人の確保で誰も動かない・・・

1人をのぞいて・・・

MISSION 2 (4) (後書き)

一気に5人確保・・・

おびえずにミッションに挑む勇者はいたい誰か？

MISSION 2 (5) (前書き)

照明の復旧をきっかけに、
ハンター3体によって5人が確保された・・・
その影響で、
逃走者は動くに動けなくなった・・・

MISSION 2 (5)

残るハンターボックスは
あと1つだけ・・・

残り時間45分までおよそ3分・・・

果たして、

ミッションクリアなるか？

ミッションに誰も・・・

パティ「・・・コワイです・・・」

憂「行けない・・・行けないよ・・・」

動かない・・・

そんな中1人、ミッションに向かう者がいた・・・

梓「あとどのボックスにいけばいいの？」

梓だ・・・

梓「憂、知ってるかな？」

ピリリッ

憂「！わっ！？…梓ちゃん？」

ピッ

憂「もしもし？」

梓「憂？ハンターボックスってあとどこやってないか、知ってる？」

憂「えっ、わかんない。」

梓「わかった。じゃあね。」

ピッ

梓「律先輩はどうだろ？」

ピリリッ

律「！！わっ！」

ピッ

律「なんだよ！！」

梓「！！にゃっ！！」

律「梓か？」

梓「は、はい。あのハンターボックス…」

律「やったよ。レストラン。」

梓「あとやった所知ってますか？」

律「あと？知らない…待って。」

先ほどのこと・・・

つかさ『フリーザーゾーンと超迷宮のボックスがね』

律『クリアしたんですか？』

律「フリーザーゾーンと超迷宮もクリアしてるはず…ボックスはあと一つだ。」

梓「わかりました。ありがとうございます。」

ピッ

これで梓の知る情報は

5つのハンターボックスがクリア

恐怖の館にこうが行ったこと

そして、フリーザーゾーンと超迷宮、

レストランオーシャンのボックスがクリアしたことだ・・・

梓「…もう時間がない。」

残り45分まであと2分・・・

梓「一か八か、行こう！」

梓が向かうのは・・・

梓「ここから近い・・・パールキャッスル!!」

残るハンターボックスは、パールキャッスルのみ・・・
果たして、間に合うのか？

MISSION 2 (5) (後書き)

パールキャッスルに向かう梓・・・
彼女の運命は・・・？

MISSION 2 (6) (前書き)

パールキャッスルに向かっているのは中野梓ただ1人・・・
果たして、
間に合うのか・・・

MISSION 2 (6)

梓「もう迷ってる時間ない！」

パールキャッスルに向かう梓・・・

ハンターボックスはあと1つ！

和「…誰かやってるのを信じるしかない。」

やまと「…もう誰かやってることを信じないと…」

律「…梓頼むぞ」

梓「着いた！」

パールキャッスルにたどり着いた！

梓「ボックスどこ？」

残り1分・・・

梓「どこ？」

つかさ「あと1分だよ」

みゆき「…大丈夫でしょうか？」

梓「見つからない！？…もしかして、上！？」

残り30秒・・・

梓「…！あつた！」

見つけた！

あと15秒・・・

梓「スイッチ…」

10

梓「どこ？」

9

梓「あつた！」

8

梓「せいのつ」

7

カシャン！

NO.6 封印・・・

梓「……………良かった……………」

ミッションクリア

ピリッピリッピリッ

あやの「『ミッションの結果…ミッションクリア！！』」

律「梓やった〜！」

やまと「『平沢唯、八坂こう、永森やまと、柊つかさ、田井中律、中野梓の活躍により、6つのハンターボックスは再び封印された。』」

牢獄でも・・・

かがみ「すごい全部封印された！」

全員「え〜〜〜〜！！！」

紬「唯ちゃんもやってたんだ！？」

唯「えへへ。」

かがみ「……………そっちの4人は？」

4人「……………」

かがみ「人まかせか…」

パティ「イヤア、すごいです。」

グリーングリーンに隠れるパトリシアことパティ・・・
同じく近くにいたのは・・・

和「……………」

和だ・・・

和「…移動しようかな？」

移動する和に対し、

パティ「ここにイレバダイジョーブです。」

隠れ続けるパティ・・・

和「…とりあえず、アトラクションエリアに…！イヤァー！」

ハンターだ・・・

和の逃げる先に・・・

パティ「！！NO！」

パティだ・・・

和「!!!あつ...」

ボワン

真鍋和 確保

残り10人

残り時間41分12秒

和を確保したハンターがパティを見つけた!

パティ「イヤッッ!」

ボワン

パトリシア・マーティン 確保

残り9人

残り時間41分02秒

パティ「ウゴけばヨカッタです」

和「...隠れてたら良かった...」

2人とも裏目にでた・・・

かがみ「!あつ、真鍋和、パトリシア・マーティン確保!」

牢獄全員「え~~~~っ!!!!」

唯「和ちゃんも捕まっちゃった」

ゆたか「パティちゃんも捕まっちゃった...」

ひより「捕まるペース早くないっすか？」

ピリッピリッピリッ

メールだ・・・

梓「『ミッションが終了したため、これより先ほどの6ヶ所に入ることを禁止とする。』じゃあ、出ないと...」

つかさ「ええ」

みゆき「仕方ないですね。」

やまと「...じゃあ、出ましょうか。」

みなみ「...はい。」

建物から出る逃走者たち・・・

残り9人

時間はようやく半分になった・・・

時はすこしさかのぼる
警備員たちは・・・

警備員「これで大丈夫です。」

佐竹「…ええ。」

警備員「…あの？」

佐竹「はい？」

警備員「部外者の僕が言うのもあれですけど…3年前の事件で何があったんですか？」

佐竹「えっ！？」

警備員「ただの事件ではないのはなんとなく感じてました。園内でこんなトラブルも初めてですし、佐竹さんもおかしいです。」

佐竹「……」

警備員「教えていただけませんか？」

「…ごめんなさい」

佐竹「！奏！？」

警備員「！今の声が？」

あわてて外に出る佐竹…

警備員「！待ってください！佐竹さん！」

佐竹が向かったのは

パールキャッスル・・・

そこで待ち受けることは・・・？

MISSION 2 (6) (後書き)

ドラマも核心に迫ります！
そして、どうなる逃走中！

く答えと新たな謎く遊園地の事件く（前書き）

真相に近づきつつあるかも・・・

「答えと新たな謎」遊園地の事件」

パールキャッスルに向かう佐竹と警備員・・・

・・・クスン・・・クスン

奏「ごめんなさい・・・ごめんなさい・・・」

パールキャッスルの展望台に奏はいた・・・

佐竹「ハアッハアッ・・・奏！」

奏「！」

佐竹「・・・奏！」

警備員「あの人が・・・」

奏「・・・雄・・・くん・・・」

佐竹「そうだ！雄太郎だ。」

奏「・・・どうして・・・ここに？」

佐竹「明日・・・もう今日か・・・演奏会なんだ。」

奏「そう・・・なんだ・・・」

佐竹「奏・・・なんで泣いてるんだ？」

奏「…私が悪いの…私のせいで…響が…」

警備員「響？つてまさか？」

佐竹「……3年前に事故で亡くなった僕の友達です。」

警備員「やっぱり…」

奏「ちがう…」

警備員「？」

奏「事故じゃない…私のせいで…響は…」

佐竹「亡くなった…」

奏「！」

佐竹「だから、お前は……自殺した…」

警備員「！！自殺！？」

佐竹「…もう泣くな奏…あいつは…」

奏「……私のせいよ。私が…フルートを隠したから響が…」

??「…どこ？どこにあるの？」

警備員「！今の声は！？」

奏「！響！？いやっ、許してー！」

ふっ・・・

警備員「消えた・・・」

佐竹「っ！奏！…響もここに？」

警備員「ええっ！？」

佐竹「…あいつ、探してるんだ…大事なフルートを…」

警備員「フルート？でも、3年前に紛失したなんて聞いてませんよ。」

佐竹「2本持ってたんです。」

警備員「？」

佐竹「その内の1本はお守りなんです…あいつの大切な宝物なんです…」

警備員「…じゃあ、響さんが探しているフルートは…」

佐竹「大事なお守りです…それを奏が隠してしまった…」

警備員「…響さん今でも探しているんですね…」

佐竹「…やっぱり、あのとき…」

警備員「え？」

佐竹「！いえ、なんでも…奏と響を探さないと！奏はフルートの場所を知ってるはず！」

警備員「僕も手伝います！」

遊園地の入り口、

響「どこ？私のフルート？」

フルートを探す響の姿があった・・・

彼女が目指す方向にあるのは、ある装置・・・

この装置が逃走者に新たな試練として立ちはだかる・・・

く答えと新たな謎く遊園地の事件く（後書き）

新たなミッションが始まる・・・

逃走者の運命は・・・

MISSION 3 (1) (前書き)

新たなミッションが始まる・・・

MISSION 3 (1)

ピリッピリッピリッ

こう「!びつくりするって、もう…ミッションだ!」

憂「『現在遊園地入り口に女性がいる。』え?」

やまと「『その女性が目指す方向にある装置がある。』…?」

みゆき「『その装置とは…』」

梓「『賞金リセット装置』!」

つかさ「ええっ!?『残り30分になると彼女はその装置を起動させ、』」

律「『賞金は0から再スタートとなる』!?!うそだろ!?!」

あやの「『阻止するには彼女の探してるフルートを見つけ、渡さなければならぬ。』ええ?」

みなみ「『フルートの場所を知るのは、ミュージックホールにいる女性のみだ。急ぎたまえ。』……。」

MISSION 3

賞金リセットを阻止せよ!

遊園地入り口に

フルート奏者の響が現れた。

彼女の向かう先には、

賞金リセット装置。

残り30分になると、

彼女は装置を調べて

起動させてしまい

賞金は0から再スタートとなってしまう。

これを阻止するには、

彼女に『フルート』を

渡さなければならぬ。

ただし、

『フルート』の場所は、

ミュージックホールにいるバイオリニストの奏しか知らない。

賞金リセット装置は

女神の噴水の近くにある。

いま現在、

残り時間40分45秒

およそ10分後に賞金が

リセットされてしまう。

律「賞金が0からってなんだよ！」

こつ「酷すぎるって！」

梓「リセットされたら今までの苦勞が水の泡ですよ!？」

残る逃走者は9人・・・

いったいどうなるのか？

MISSION 3 (1) (後書き)

逃走者に

賞金リセットの危機が迫る！

MISSION 3 (2) (前書き)

賞金リセットの危機にどう立ち向かうのか・・・

MISSION 3 (2)

セントラルエリア、

モノリスアートにいた

梓・・・

梓「…ミュージックホールに行かなきゃ。」

再びミッションに挑む！

やまと「…ミュージックホールはあっちか…」

律「行かないと0になる。」

あやの「私も行く。」

こう「行かないやついないだろ。」

みゆき「ミュージックホールですね。」

みなみ「……………」

つかさ「ふえ〜、コワイけど…」

続々とミッションに参加する逃走者・・・

参加してないのは・・・

憂「怖くて動けない…」

憂「ただだ・・・」

現在、ミュージックホールに1番近いのは・・・

梓「急がないと、急がないと…」

梓だ・・・

しかし、近くに・・・

ハンター・・・

梓「！ハンターいるよ!？」

しかし、

ハンターは気付いていない・・・

梓「イベントエリアに入っちゃった…」

ミュージックホールはイベントエリア内にある・・・

梓「どうしよう。」

そんな事は知らずにイベントエリアに近づいたのは・・・

つかさ「……?」

つかさだ・・・

ピーーーーー

ハンターに見つかった・・・

つかさ「！ふやー！ー！」

偶然近くにいたやまとも・・・

やまと「！・・・くっ！」

つられて逃げる・・・

だが、その先にもハンター・・・

やまと「！・・・くっ！」

ボワン

永森やまと 確保

残り8人

残り時間39分04秒

つかさ「いや～～～！」

ボワン

柊つかさ 確保

残り7人

残り時間38分59秒

やまと「・・・失敗した！」

つかさ「ふえ～、怖かったよ～」

かがみ「！永森やまと、柊つかさ確保！！」

かがみ以外の牢獄全員「ええええ！！？」

律「永森さん！柊さんも！」

みゆき「っ！つかささんが……」

こう「！やまとも！？」

残る逃走者は7人……

みなみ「……」

じつと動かずタイミングをうかがうみなみ……

みなみ「……今だ！」

一気に駆け込みミュージックホールに向かう！

みなみ「……着いた！」

奏はミュージックホールの東口にいる……

みなみ「……どこ？」

周りを探すみなみ……

みなみ「！」

いた・・・

みなみ「…すみません。」

奏「！えっ！？」

みなみ「…あの、フルートを探してるんですが…」

奏「フ、フルート…」

みなみ「場所を教えてくださいませんか？」

奏「…いやっ。」

みなみ「お願いします！どうしても、必要なです！」

奏「……………ワイワイ広場の……………座席の……………下……………」

みなみ「ありがとうございます！」

お礼を言っ去るみなみ・・・

奏「……………教えるつもり……………なかったのに……………」

急いでワイワイ広場に向かうみなみ・・・

みなみ「…！そうだ！」

ピリリッ

みゆき「電話…みなみさんから」

ピッ

みなみ「みゆきさん…」

みゆき「どうしましたみなみさん？」

みなみ「フルートはワイワイ広場の座席の下だそうです。」

みゆき「ワイワイ広場…ありがとうございます。」

ピッ

みゆき「じゃあ…」

ピリリッ

あやの「！電話だ。」

ピッ

みゆき「もしもしみゆきです。」

あやの「高良ちゃん！？」

みゆき「フルートはワイワイ広場の座席の下にあるそうです。」

あやの「！ありがとう。」

ピッ

律「何でした？」

あやの「ワイワイ広場の座席の下にフルートが…」

律「！！ワイワイ広場ってどこじゃん！」

偶然にも、

・ ミュージックホールの途中にあるワイワイ広場にいた律とあやの・

律「あやのさん！他の人にも連絡して！私はフルート探します！」

あやの「わかった！」

座席に向かう律と、

逃走者に連絡をとるあやの・・・

みなみとみゆき、あやのの呼び掛けで全員場所を知ることができた！

あとはフルートを見つけ、響に渡すのみ・・・

残り30分まであと6分・・・

MISSION 3 (2) (後書き)

急がないと0から再スタート！

果たして、

間に合うのか・・・

そして、響と奏の秘密が…

MISSION 3 (3) (前書き)

フルートの場所を知った逃走者・・・
見つけることは出来るのか？

MISSION 3 (3)

響のフルートがワイワイ広場にあることを知った逃走者たち・・・

急いでワイワイ広場へ向かう・・・

フルートを探す律・・・

律「…ない、ない…広すぎるって…」

ワイワイ広場というだけあって広い・・・

みなみ「…!」

そこへみなみもやってきた!

律「探して!」

みなみ「はい!」

これで2人・・・

こう「どこ?フルート。」

3人目だ・・・

律「座席の下!」

こう「オーケー！」

続々と集まる逃走者たち……

あやの「私も。」

梓「やっと着いた……」

みゆき「見つかりましたか？」

これで来てないのは平沢憂ただ1人……

憂「みんなやってるのかな？」

あやのの電話が来たとき……

ピリリッ

憂「！電話？」

ピッ

憂「はい？」

あやの「あやのです。」

憂「どうしました？」

あやの「フルートがワイワイ広場にあるんで、手伝ってくれないか

なあって。』

憂『ワイワイ広場ですか？ちょっと遠い……』

あやの『じゃあしょうがないね。じゃあ、気をつけてね』

ピッ

憂『あっ……行こっかな……』

憂「こわいけど……」

あやのの電話で勇気を出して挑むようだ……

一方、ワイワイ広場では……

こう「見つかった!？」

あやの「まだ〜」

みなみ「……（フルフル）」

まだみつからない……

ようやく、

イベントエリアのゲートにたどり着いた憂……

憂「やっと着いた」

ワイワイ広場までもう少しだ・・・

そして、

律「ん？何だこのビニール？」

中を見ると・・・

律「！！あつたー！！」

田井中律 フルート入手

こう「あつた！？」

みゆき「ありましたか！？」

梓「律先輩すごいです。」

そこへ遅れて・・・

憂「・・・？あれ見つかったんですか？」

憂がやってきた・・・

梓「いま見つかったところ。」

一足遅かった・・・

憂「良かった見つかった。」

そこにハンター・・・

ピーーーーー

見つかった・・・

憂「良かった……！！ハンター！！ハンター！！」

こう「ヤバッ！」

一斉に逃げ出す逃走者たち・・・

ハンターが視界に捕えたのは・・・

みなみ「……！」

みなみだ・・・

みなみ「……！」

運動神経は抜群のみなみ、
座席を利用してハンターから逃げるが、
ハンターも追い掛ける・・・

みなみ「…………！」

徐々に狭まる距離・・・

みなみ「！あつ！」

ボワン

岩崎みなみ 確保

残り6人

残り時間33分17秒

みなみ「…ハアハア…速い…」

みゆき「！みなみさん捕まりました！」

かがみ「岩崎みなみ確保！」

ゆたか「みなみちゃん！捕まったの！？」

みさお「けっこー、足はえーよなあ。」

和「それでも、捕まえるんだからハンターって凄すぎるわ。」

唯「！あゝ、あの人のことかな！？」

澪「ひつ、怖い！」

紬「あの方が装置を起動させる方ではないでしょうか？」

が、らき すたメンバーは・・・

ゆたか「…天原先生！？」

ひより「天原先生じゃないっすか？」

かがみ「あぁっ、保健の先生の…」

こなた「そうだね。」

みさお「ああ、あの先生だよな。」

たまき「間違いないよね…」

みく「うん。」

いずみ「なんでここに？」

かがみ「先生ー！何してるんですかー？」

響「…ない…どこにあるの？」

こなた「？『どこにあるの？』って言ってるみたいだけど…」

唯「あの人がリセットする人だからでしょ？」

ミュージックホールでは…

梓「ハアッ…ハアッ、危なかった…」

梓が…

梓「女の人？あの人フルートの場所を知ってる人かな？」

奏を見つけた・・・

梓「・・・！山中先生！？何してるんですか？」

奏「！だれ・・・？」

梓「え！？私ですよ、中野梓です。」

奏「・・・知らない・・・」

梓「・・・あれ？人違い？」

そして、

律「みんなとはぐれた・・・けど、急がないと。」

フルートを持っているのは田井中律・・・

残り30分まであと2分
果たして、間に合うのか？

MISSION 3 (3) (後書き)

ええゝ・・・

じつは

奏はけいおん！の山中先生

響はらき すたの天原先生なんです。

実際の逃走中のドラマの感じをやってみた結果です。

あつ、男性キャラは

オリジナルです。

作中に出てきた

モノリスアートは

セントラルエリアにある

壁に描かれた絵を

オブジェのようにした場所です。いくつも壁があるため、中に隠れたりもできる。

次回でミッション3は
終わりです。

MISSION 3 (4) (前書き)

残り30分まであとわずか・・・
逃走者たちの運命は？

MISSION 3 (4)

律「女神の噴水に急がないと！」

賞金リセット装置がある女神の噴水を目指す律・・・
残り30分まで2分を切っている・・・

律「間に合え・・・！ハンターいる！」

アトラクションエリアのゲートに隠れる律・・・
ハンターは気付いてないようだ・・・

律「はやくどっか行けっ！」

牢獄では、

こなた「1分切ったよ！」

かがみ「もうヤバイんじゃない？」

つかさ「間に合わないかも・・・」

響はすでに装置の近くにいる！

響「ないよ・・・私のフルート・・・どこ？」

こつ「1分切ってる！」

みゆき「いまどうなっているんでしょうか？」

梓「フルート、律先輩が持つてるはず…律先輩お願い！」

憂「…律さんがんばって」

あやの「大丈夫かな？」

律「…諦めようかな？もうダメだ…」

そのとき・・・
思い出した・・・

律『永森さんは誰も見捨てずに全員助けようとしたから…』

律「！私はやらなきゃ、みんなのために！」

残り35秒

律「いまなら、行ける！」

女神の噴水まで一気に走る！

かがみ「あと20秒！」

みく「もう来ないかも…」

律「間に合え！間に合え！！」

唯「…！来た！！りっちゃんだ！！」

漣「律！？」

紬「本当だわ。」

10

律「待ってください！！」

響「？」

律「これをどうぞ！！」

唯「すごい！！」

つかさ「フルートだ」

響「あ、ああ、私の、私のフルート！！」

律「良かったあ…」

響「ありがとう…ありがとう…」

ちらつとやまの方を見た律…

律「ありがとうございます。」

ミッションクリア

その瞬間タイマーとハンターが停止した…

律「よしっ、それじゃ…」

響「待ってください。」

律「？」

響「あなたにはお礼をしないといけませんね。」

律「え！？いいですよ、そんな。」

響「どうしても、お礼がしたいんです。」

律「…わかりました。」

響「ありがとうございます。お礼に…」

そう言つと、

牢獄の方を見て…

響「お仲間ですよね？」

律「？はい。」

響「この中から3人を解放しましょう。」

律「！？えっ！」

牢獄全員「えゝゝゝっ！」

こなた「それって、まさか？」

かがみ「復活！？」

響「ただし、解放するかわりにあなた方の報酬の半分は彼女に渡してください。」

律「えっ、そこまで？」

牢獄全員「はい！」

響「では、だれを解放しますか？」

律「私が選ぶの？」

響「ええ。」

一気に牢獄が盛り上がる・・・

律は誰を選ぶのか？

律「…じゃあ…」

牢獄全員「……………」

律「永森さんとつかさんと漣!！」

やまと「!えっ!？」

つかさ「!わ、わたし？」

漣「!！」

3人以外牢獄「えゝなんで？」

律「……いまのミッションクリアできたの…永森さんとつかさんの…おかげだから…」

やまと「?私はなにもしてない…」

つかさ「わたしも…」

律「（フルフル）2人は大切なことを教えてくれたから…だからです。」

漣「わたしはなんで？」

律「はゝ、一番近い存在だから?。」

漣「なんだそれは！」

響「いいですか？」

律「はい！」

サツ

）　　）　　）　　）

律「…わぁっ」

響の奏でるフルートの音色がエリア内に響く。
そして、牢獄にも作用し、

カチャン！

響「これで大丈夫です。さあ。」

永森やまと、柊つかさ、

秋山漣復活

つかさ「やった〜」

漣「よしっ」

やまと「……………」

響「がんばってください。それでは…」

そう言って、響は去っていった・・・

律「…じゃあ行きましょう。」

やまと「待ちなさい。」

律「？」

やまと「……ありがとう。」

つかさ「ありがとう」

律「…ありがとう。」

やまととつかさも去っていった・・・

漣「…律？…！」

ポロツ「…ポロツ…」

漣「…2人のためにもがんばれ！そして、泣くな！」

律「うん・・・」

漣（だから、私を選んだのか…）

律「漣、ありがとう。」

漣「…じゃあな。」

2人も去っていった・・・

そして、ミュージックホールでは・・・

奏「…響」

響「なあに？」

奏「！！響！？許して！許して！！」

ポン

奏「！」

響「怒ってないから…泣かないで…」

奏「でも、でも、私の…」

響「ごめんなさい…」

奏「！！…なんで、響が謝るの？」

響「私が死ななければ、あなたは死ぬことはなかった…あなたまで…ごめんね…」

奏「響！？響！！私がバカだった！ごめんね…ごめんね…」

佐竹「…良かった。」

警備員「…はい。」

しかし、

事件はまだ解決したわけではなかった・・・

ポロン
ゝ

MISSION 3 (4) (後書き)

復活・・・

考えてました。

秘密の形で・・・

ドラマもクライマックスに近づいています！

皆さんお楽しみに！

リリカルショーバイさん

いつも感想ありがとうございます！

皆さんの感想お待ちしております。

タイマー停止時〜再開〜（前書き）

タイマー停止中の様子と
ゲーム再開です。

そして、新たな異変が・・・

タイマー停止時〜再開〜

律がミッションを

クリアしたとき、

ハンターとタイマーが

停止した・・・

こう「！？あれっ！？動いてない！？なんで!？」

梓「！！ハンター！！……？あれ？動いてない？」

ピリリッピリリッピリリッ

メールだ・・・

あやの「？『ミッションクリア』！」

みゆき「『田井中律の活躍により、賞金リセットは阻止された。』」

梓「『そして、女性がお礼として牢獄の中から3人を復活。』!？」

こう「『ミッションをクリアした田井中律が復活させる者を選ぶ間、タイマーとハンターは停止する。』だから…」

これにより逃走者は

少し休むことができる・・・

憂「じゃあ、少し休めるんだ…」

こっ「今のうちに体力回復しよ……」

梓「じゃあ、ハンターから離れないと……」

それぞれの行動をとり、

再開のときを待つ逃走者……

そして……

ピリリッピリリッピリリッ

メールだ……

みゆき「『復活者決定。復活したのは……』」

こっ「『永森やまと』！やまと復活した！」

あやの「『柊つかさ』。ひーちゃんだ。」

梓「『秋山零』。律先輩……」

憂「『ゲームを再開する。』」

つかさ「……緊張する……」

10

9

8

7

6

5

4

3

2

1

律「スタート！」

やまと「…始まった。」

ハンター再起動・・・

残り時間およそ30分・・・

復活した漣・・・

漣「あと30分か…」

復活させた律・・・

律「まだ30分かあ…」

2人の感覚は違うようだ・・・

復活したつかさ・・・

つかさ「…ふう。」

同じく復活したやまと・・・

やまと「……」

2人の目標は同じ・・・

やまと「…逃げ切る。」

つかさ「最後までがんばる。」

逃げ切りだ・・・

そして、澪も・・・

澪「最後まで行きたい!」

逃げ切りだ・・・

憂「……………」

再び観覧車に隠れる憂・・・

ここが落ち着くようだ・・・

こう「やっぱ、動いてた方が捕まんない。」

最初るときと同じように

隠れるつもりはないようだ・・・

パールキャッスルの近くに・・・

あやの「ハンターは来ない…ね。」

あやのだ・・・

あやの「…ミッション…まだありそう…」

ミッションの心配をしている・・・

その心配は・・・
的中する・・・

時はゲームが再開する少し前にさかのぼる・・・

ミュージックホールでは・・・

新たな異変が起ころうとしてた・・・

??「……」

ある男性がピアノの近くにいた・・・

ガタンッ

??「……楽譜……あと4枚……思い出せない……」

椅子に腰をかけ、
呟いた言葉・・・

そして・・・

バ～ン ポロロン ポロロン ｝
ダン ダン ダン ダン ｝

響き渡るピアノの音に・・・
奏、響、佐竹、警備員が気付いた・・・

タイマー停止時〜再開〜（後書き）

ミュージックホールで

新たな異変が始まる！！

ドラマはクライマックスに向かってます！

く真相とピアノの旋律く遊園地の事件く（前書き）

遊園地の事件の真相が
明らかに・・・

く真相とピアノの旋律く遊園地の事件く

ダン　ダン　ダン　ダン　くポロロン　ポロロン
ポロン　ポロン　ポロン　ポロン　く

ミュージックホール内に
響くピアノ・・・

それが奏でる音色はまるで・・・

響「むなしい・・・」

警備員「むなしい？」

奏「心に響かない・・・そんな音色だわ・・・」

佐竹「……………あいつだ。」

警備員「あいつ？……………まさか、3年前の……………」

佐竹「……………やっぱり……………ここにいたんだ……………」

警備員「やっぱりって？どついう……………」

佐竹「……………」

奏「雄くん、何か知ってるの？」

響「……………教えて、雄くん……………」

佐竹「……ラブ&フレンズ……」

警備員「？ラブ&フレンズ？」

響「新しく……作ってた曲ね……」

奏「私も知ってる……とても大事に……大切に作ってた曲だわ……」

警備員「それがいったい？」

佐竹「……あの事故のあと、楽譜を見たんだ。……足りなかった……」

響「……足りなかった？」

奏「……まさか!？」

佐竹「4枚なくなってたんだ!」

響「どうして!？」

警備員「……あの事故のとき持ってたはず……風でとばされたのでしょ
うか？」

奏「……私が……響のフルートを……隠したりなんかしたから……」

響「奏、違うわ。奏は悪くない!」

奏「でも……私が……」

佐竹「ちがう！…僕のせいなんだ！」

奏「！？」

響「！？雄…くん…？」

警備員「……………」

佐竹「あの楽譜を…隠したりしたから！」

響「隠した…？」

佐竹「あいつの事故…転落したところに楽譜を隠したんだ…そのあと…あいつが…僕のせいなんだ！…あのあと、死のうと思って屋上に行った…」

奏「！えっ！？まさか…」

佐竹「（コク）お前が飛び降りるところを見たんだ…遺書も見た…」

警備員「事故じゃないこと最初から知ってたんですね…事故になったのは、佐竹さんが…ごまかしたからですな。」

佐竹「（コク）…死ねなかった。僕は卑怯だ。大切な友達を死なせてしまったばかりか、その原因の僕だけ生き残った…本当に死ぬべきなのは僕なんだ！」

響「バカ…」

佐竹「！」

響「死ぬなんて言わないで…雄くん…」

佐竹「響…」

響「生きて…生きて…私たちの分まで、音楽をやつてよ…」

奏「雄くんも…苦しかったんだね…」

佐竹「奏…」

奏「許してくれるよ…彼なら…私が愛した人だもん…」

響「奏やつぱり…」

奏「…ごめんね…私も好きだったの…だから、あんなことを…」

佐竹「……僕もだ」

奏「え!？」

佐竹「…ずっと…響…お前のことが…好きだった…あいつと結婚するって聞いたとき…嫉妬した…だから、あんなことを…」

じつは響とピアニストの男性は結婚することが決まっていた。

しかし、

奏もピアニストのことが

佐竹も響のことが好きだった…

嫉妬した2人は

3年前のあの日に

2人にとってとても大事なものを隠してしまった・・・

探した2人は不幸にも事故で亡くなってしまい、

それを苦に奏は自殺をした・・・

それを目撃した佐竹は

遺書を読みすべてを知った。奏が自分と同じことをしていたことを・

・

佐竹は奏の死を

事故のように偽装した。

それは自分と奏を重ねてしまったからかもしれない・・・

響「雄くん・・・」

奏「響のフルートを隠したりしなければ、響は死ななかった・・・」

佐竹「あいつの楽譜を隠したりしなければ、あいつは死ななかった・・・」

響「私が死ななければ、奏は死ぬことはなかった・・・」

警備員「……………」

響「でも、雄くんは生きてる…それだけは嬉しい・・・」

佐竹「!!」

奏「生きて、私たちの分まで…彼の分まで・・・」

佐竹「いいのか？生きていて…」

奏、響「うん。」

佐竹「……わがった。みんなの分も生きる。みんなの分の音楽をやるよ。」

奏、響「ありがとう。」

ダン　ダン　ダン　ダン　ダン　ダン　ダン　

ポロン　　

ポロン　　

ポロン　　ポロン　　……

警備員「？音が止んだ？」

佐竹「……ここからだ。ここからの楽譜がないんだ。」

奏「……忘れてしまったんだわ……」

響「……大切な思いも……」

………　　ダダン

警備員「……！」

ダダン　　ダダン　　

奏「……この曲……！」

響「『悲しみは永遠に……』だわ」

佐竹「あいつの作った……唯一の悲しい曲だ……」

奏「……似合わないよ……こんな曲……」

響「……いつだって、明るい曲を弾いてたのに……」

佐竹「……探してくる。」

警備員「！何をですか？」

佐竹「残りの楽譜を！」

警備員「無茶だ！無くなったのは3年前ですよ。」

佐竹「……それでもだ。」

警備員「ああっ！」

奏「雄くん！」

響「……」

サッ

奏「響……」

響「悲しい曲は似合わないから、私は彼のために演奏するわ。私にできるのは……これだけだから……」

）
）
）
）
）
）

警備員「私も探します。」

奏「響：私は：なにもできないなんて：バイオリンがあれば…」

3年前に失われた楽譜は
1つの宝箱に眠ってた・・・
だが、そこにある人影が・・・

??「始動だ…」

その言葉の瞬間・・・
観覧車の3つのゴンドラにハンターの姿が・・・

そして、

『悲しみは永遠に』が

タイマーにとんでもない作用をしてしまう危機があることを誰も知らなかった・・・

く真相とピアノの旋律く遊園地の事件く（後書き）

怪しい影と悲しい曲が
招く事態とは？

MISSION 4 (1) (前書き)

最悪のミッションが
始まる・・・

MISSION 4 (1)

ピリッピリッピリッ

メールだ・・・

梓「…来た!」ミッション4!」

みゆき「『ミュージックホールから流れる音楽にはある秘密がある…それは…』」

こう「『時間リセット』?!?!?」

つかさ「『この曲が最後まで流れてしまうと残り時間が再び80分に戻ってしまう。』ええ〜!」

あやの「『阻止するには、メリーゴーランドにある楽譜をミュージックホールにいる奏と響に渡さなければいけない。』」

律「ええ〜、『なお、曲は残り10分に終了する。急ぎたまえ。』」

こう「これはヤバイって!」

やまと「…最悪…」

牢獄でも

かがみ「このミッション酷すぎよ!」

唯「ミッションがかなり難しいよ！」

MISSION 4

時間リセットを阻止せよ！

エリアに流れる曲は

『悲しみは永遠に…』

残り10分になると

曲が終わり、

残り時間が再び80分から

スタートしてしまう。

そして、再スタート後の

残り10分になるまで賞金は増えなくなり、

ミッションも

やり直しになる。

阻止するには、

メリーゴーランドの

宝箱にある楽譜を

ミュージックホールにいる奏と響に渡さなければいけない。

いま現在、

残り時間およそ28分

ミッション終了まで

あと18分・・・

その時・・・

ピリッピリッピリッ

あやの「！またメール！『通達3』！」

梓「『観覧車のゴンドラの中に3体のハンターがいる。』え？」

やまと「『彼らはゲーム終了まで逃走者を監視する。』！？」

漣「『見つければ地上にいるハンターに位置を知らせ、』」

みゆき「『確保に向かう』…あそこからですか？」

こう「見えてんじやないの！？ヤバイ…」

通達3

観覧車のゴンドラに3体のハンターがいる。

彼らはゲーム終了まで

逃走者を監視し、

発見した場合、

地上のハンターに位置情報を知らせる。

憂「！観覧車から！？」

観覧車の近くにいた憂・・・

憂「離れないと…」

観覧車から逃げる・・・

だが・・・

ピピピピピピピ

その様子を・・・

ピン！

ハンターに見られた・・・

MISSION 4 (1) (後書き)

監視ハンターに
見つかった憂・・・
いったいどうなる・・・

MISSION 4 (2) (前書き)

最悪のミッション・・・
時間リセットの危機！

監視ハンターに見つかった憂の運命は！？

MISSION 4 (2)

監視ハンターに

見つかった憂・・・

憂「…このままメリーゴーランドに…」

その近くに通報を聞いたハンター・・・

憂「見つかってないかな…？」

見つかつてる・・・

ピーーーーー

憂「…！キヤーー！！」

見つかった・・・

憂が逃げる先には・・・

梓「メリーゴーランド…」

梓だ・・・

憂「キヤーー！！」

梓「…！！なに？…！！ヤバイ！」

このとき、

憂が梓を追いついたため、
ハンターの標的が憂から梓に変わった！

梓「ヤダッ！イヤァー！」

ボワン

中野梓 確保

残り8人

残り時間27分22秒

梓「…油断した…見つかったのかな？…くやしー！」

見つかった憂は…

憂「…ハアッ…ハアッ…もう行けない…」

アトラクションエリアから逃げることが出来たようだ…

憂「レストランズストリートに…隠れよう…」

しかし、

監視ハンターからは…

ピーン！ピーン！

のがれてはいない…

再び近くのハンターが確保へと向かう…

憂「…またっ！イヤァー！」

唯「！憂だ！」

純「ハンターに追われてる！」

紬「がんばって！」

憂「…ハアッ…もうダメ…」

あきらめた…

ボワン

平沢憂 確保

残り7人

残り時間25分14秒

牢獄ほぼ全員「あ~~~~」

唯「憂~~~~」

あやの「もう逃走者少ないよね。」

残りは7人…

漣「ミッション行きたいけど…観覧車の近くなんだよねあ」

メリーゴーランドは観覧車の近くにあるため、
リスクはかなりある…

律「…行かなきゃ…時間リセットは…きつすぎる…」

こう「あそこなんだけど…タイミングが重要だな…」

ミッションに挑む律とこう、

たどり着けるのか…

ミュージックホールにいた柊つかさ…

つかさ「聞こえる…ピアノの音…」

つかさの前に…

つかさ「？」

奏「あ、あの…」

つかさ「！びっくりした…は、はい、为什么呢？」

奏「私のバイオリン…知りませんよね…」

つかさ「なくしたんですか？」

奏「ええ…それがあれば…」

つかさ「…探しましょうか？」

奏「え！…でも…」

つかさ「大事なものなんですよね？心当たりはないですか？」

奏「……………あつ。ワイワイ広場。ワイワイ広場のステージ控え室…
もしかしたら…」

つかさ「ワイワイ広場…わかりました。探してきます。」

奏「…ありがとう。」

ひよんな事からバイオリンを探しに向かうつかさ…

やまと「…メリーゴーランドまで距離がある…けど、行かないと危
ない。」

イベントエリアゲートにいるやまと…

やまと「観覧車がやかいいね…」

観覧車を警戒する…

やまと「……………死角はないかしら。」

どうやら死角を使って向かう作戦のようだ…

一方、ワイワイ広場に向かうつかさは…

つかさ「…怖いよ。」

ハンターを見つけた…

つかさ「どうしよう…」

ハンターは気付いてないが、
身動きが取れない・・・

こう「…行くか！」

ダッシュでメリーゴーランドまで向かうこう・・・

こう「行ける！」

監視ハンターは気付いていない・・・

こう「よし！宝箱は…あった！」

宝箱発見！

こう「よしっ！……………えっ……………！」

何かに驚くこう・・・

こう「……………なにも入ってない……………」

なんと宝箱は空っぽだった！

いったいこれはどういう事なのか・・・

MISSION 4 (2) (後書き)

宝箱が空だった！？
いったいどうなるのか？

MISSION 4 (3) (前書き)

あるはずの楽譜が消えた・・・
いったいどこにあるのか・・・

MISSION 4 (3)

こう「なんで！なんで何も入ってないんだ！？」

宝箱を開けたこう・・・

しかし、中身は空っぽだった・・・

楽譜はいつたどこへ・・・

そのとき・・・

??「…あの」

こう「！はい！？」

??「あつ、すいません。驚かせてしまったようで…」

こう「…警備員…さん？」

警備員「はい、こちらの警備員です。」

現れたのは警備員・・・

警備員「どうなさいました？」

こう「この中に楽譜があつたはずなんですけど、無いんです。」

警備員「楽譜…ええっ！！あれが楽譜！？」

こう「知ってるんですか？」

警備員「…じつは、この箱にイタズラか何かで物を入れる方が多く
です…ね…その中に大きな封筒が4つありまして…落とし物と思い
…各エリアの管理室にしまっておりま…す…」

こう「各エリアの管理室！？」

じつは警備員が宝箱にあった楽譜4枚を、
各エリアの管理室に持って行ってしまったのだ…

警備員「すいませんでした！」

こう「いえ、場所がわかったただけよかったです。急がないと…ここ
なら、アトラクションエリア管理室に！」

こうがアトラクションエリアの管理室に急ぐ！

こう「ゲートの近くに…あった。」

カチャッ…

こう「ど…？」

楽譜は机の上だ…

こう「これか？…これだ！」

八坂こう 楽譜1枚入手

こう「あと3枚…電話しよう。」

ピリリッ

やまと「…ここから。」

困ったときはやまと・・・

ピッ

やまと「…なに？」

こう「やまと？楽譜が各エリアの管理室にしまっているんだけど、だからメリーゴーランドじゃなくて、近くのエリアの管理室に行つて！」

やまと「！それ本当？」

こう「アトラクションエリアで楽譜見つけた！」

やまと「…わかったわ。イベントエリアの管理室に行ってみる。ありがと。」

ピッ

こう「…よしっ」

ピリリッ

律「！電話だ！永森さんから？」

やまと「田井中さん？」

律「はい。」

やまと「いまどこにいる？」

律「いまセントラルエリアのモノリスアートです。」

やまと「なら…セントラルエリアの管理室に行ってくれる？」

律「え？」

やまと「楽譜が4つに分けられて、各エリアの管理室にあるみたいなの…」

律「そうなんですか？わかりました。行ってみます。」

やまと「大きめの封筒に入ってるそうよ。気を付けて。」

律「はい。」

ピッ

やまと「…」

ハンターを警戒しながら、

ワイワイ広場に向かうつかさ・・・

ピリリッ

つかさ「！はうっ！・・・電話だ・・・」

ピッ

やまと「つかさ先輩？」

つかさ「やまとちゃん？どうしたの？」

やまと「いまどちらにいますか？」

つかさ「ミュージックホールの近くだよ。」

やまと「・・・そうですねか・・・わかりました。失礼します。」

ピッ

つかさ「大事なことだったのかな？」

ピリリッ

漣「！びっくりした・・・律だ」

律「漣、一回しか言わないぞ。いまどこ？」

漣「え？ ショップの近く…」

律「てことは、レジャーエリアだな。」

漣「そうだけど…」

律「レジャーエリアの管理室で楽譜を探してくれ。大きな封筒に入ってるぞ。」

ピッ

漣「…いきなりだな。…でも、楽譜が管理室にあるなんて…入口の方か…」

残り3つの管理室に向かうのは

永森やまと、

田井中律、

秋山漣の3人だ・・・

しかし、観覧車には3体の監視ハンター・・・

ハンターの目からのがれて、

無事にたどり着けるのか・・・

MISSION 4 (3) (後書き)

管理室に向かう3人の逃走者・・・
無事に楽譜を手に入れることができるのか・・・

MISSION 4 (4) (前書き)

各エリアの

管理室にある楽譜を

無事に手に入れることが

できるのか・・・

MISSION 4 (4)

イベントエリアの管理室に向かうやまと・・・

やまと「時間は…22分17秒…」

ミッションまで残りおよそ12分・・・

やまと「…ここね。」

間に合うのか・・・

漣「近くで良かった…」

無事にレジューエリアの管理室にたどり着いた漣・・・

カチャッ…

漣「この中のどこか、か…」

律「…見つかって…ないよな。」

監視ハンターを警戒する律・・・

律「！ハンターいた！！」

ハンターを見つけた律・・・

しかし、ハンターは気付いてない・・・

管理室に近づけない・・・

やまと「…これ？…これだ。」

永森やまと 楽譜1枚入手

やまと「…「うはど」？」

ピリリッ

ピッ

こう「…やまと？」

やまと「いまどこ？楽譜見つけた…」

こう「アトラクションエリアの管理室から出られなくて…」

やまと「…どこに集まる？私は花時計がいいと思うけど…」

こう「（ハンターに）見つからない？」

やまと「…賭けよ。残り18分になったら、合流しましょう。」

こう「わかった…」

ピッ

やまと「うまくいけばいいけど……」

漣「見つけた!」

秋山漣 楽譜1枚入手

漣「律は?…とりあえず、ミュージックホールに行こう。」

ようやく、管理室に着いた律……

カチャッ

律「…どこだ?」

やっと搜索が始まった……

つかさ「ワイワイ広場だ」

バイオリンを探すつかさもようやくワイワイ広場に着いた……

つかさ「ステージ控え室…あそこだよね。」

カチャッ

つかさ「!ええ、広い……」

意外にも控え室は広い、
ここを探すのは骨が折れる・・・

つかさ「・・・でも、やらないと。」

バイオリン探しが始まった・・・

律「あつた！・・・間違いないこれだ！」

田井中律 楽譜1枚入手

律「よし、あとは・・・あれ、漑か？」

律が見たのはミュージックホールに向かう漑の姿・・・

律「・・・漑！」

漑「！律！」

漑も律を発見・・・

律「こつちこつち・・・」

管理室に漑を呼ぶ・・・

律「見つけた？」

漑「ああ、これ。」

律「よっしゃ。いま2枚あるから、あとの2枚を永森さん達が手に入れれば…」

漣「合流するのか？」

律「できたらそうしたいけど…ここで捕まったらヤバイし、先に行こうか。」

漣「よしっ、じゃあ行こう。」

2人でミュージックホールに向かうようだ…

みゆき「いまどうなっているのでしょうか。」

メリーゴーランドを目指すみゆき…

しかし、みゆきは宝箱が空っぽであることを知らない…

その様子を見てた漣…

漣「…メリーゴーランドに向かっている？知らないのか？」

ピリリッ

みゆき「？」

ピッ

みゆき「はい。」

こう「八坂です。」

みゆき「どうしました？」

こう「メリーゴーランドに楽譜無いです。楽譜は1枚ずつ各エリアの管理室にあります。」

みゆき「！そうなんですか？」

こう「いま私とやまとが1枚ずつ持ってます。だから、あと2枚です。」

みゆき「わかりました。では……」

ピッ

こう「勇気あるなあ。観覧車から見えそうなのに……」

みゆき「観覧車から見えそうで……怖いです」

だが、本人は内心おびえてる……

あやの「ひーちゃん達大丈夫かな？」

ピリリッ

あやの「！ひーちゃんからだ……」

噂をすればなんとやら・・・

あやの「どうしたの?」

つかさ「いまどこ?」

あやの「いま、イベントエリアのモノリスアート。」

つかさ「そうなんだ...」

あやの「どうしたの?」

つかさ「バイオリンを探すの手伝って欲しくて...」

あやの「? 楽譜じゃなくて?」

つかさ「うん。頼まれて...」

あやの「ひーちゃんらしいなあ。で、いまどこ?」

つかさ「ワイワイ広場のステージの控え室。」

あやの「遅くなるかもしれないけど、そっちに行ってみるね。」

つかさ「ありがとう」

ピッ

あやの「楽譜は...まかせよう...」

あやのも楽譜探しを手伝いにいく・・・

律「…ふう、なんとかイベントエリアまで来たな。」

澪「あとはミュージックホールに向かえば…」

律と澪はうまくたどり着いたようだ・・・

こう「そろそろ時間だ。」

約束の場所へ向かうこう・・・

やまと「こう遅れて来ないといいけど…」

すでに花時計の近くにいるやまと・・・

こう「急いだほうがいいか。」

やまと「……………来た。」

だが・・・

ピ。ピ。ピ。ピ。ピ。ピ。ピ。

監視ハンターが・・・

ピ。ピ。ピ。ピ。ピ。ピ。ピ。

花時計に向かうところの姿を・・・

ピン！

捕らえた・・・

MISSION 4 (4) (後書き)

監視ハンターに見つかったこう・・・
いったいどうなるのか・・・

MISSION 4 (5) (前書き)

監視ハンターに見つかったこう・・・
ハンターが迫る・・・

MISSION 4 (5)

監視ハンターに見つかったこう・・・

こうはそのことに気付いてない・・・

こう「お待たせ。」

やまと「…待ったわ。」

こうとやまとの近くに、
通報を聞いたハンター・・・

こう「これが楽譜。」

やまと「これで2枚ね。」

こう「あと2枚は？」

やまと「別の人に…！ハンター！？」

こう「！わっ！？」

見つかった・・・

あやの「！ハンター！！！」

近くにいたあやのもつられて逃げる・・・

ハンターが視界に捕らえたのは・・・

こう「…！ヤバイ…」

こうだ・・・

ピーーーーー

こう「あぁっ！」

ボワン

八坂こう 確保

残り6人

残り時間17分29秒

こう「ハアッ…ハアッ…ハアッ…速い…」

やまと「こう捕まった……この楽譜受け取っというて良かった…」

楽譜は無事だ・・・

こう「やまと頼むー！」

あやの「ハアッ…ハアッ…危なかった…」

あやのが逃げた場所は・・・

あやの「あれ？ここ…ワイワイ広場だ！」

目的地のワイワイ広場だ・・・

あやの「急ぐっ。」

律「着いた!」

漣「ここ?」

ミュージックホールにたどり着いた律と漣・・・

律「誰に渡すの?」

漣「...あの人じゃないか?」

奏と響を見つけた・・・

漣「.....すみません...!!わっ!」

律「あれ?さわちゃん何してんの!?!」

奏「さわちゃん?私は奏ですが...」

律「え?うそ!?!さわちゃんじゃん!」

その様子を見た響、
演奏をやめ3人に近づく・・・

響「あ、あの?」

漣「は、はい!?!」

響「どうして、こちらに？」

律「あつ、そうだ。これを…」

楽譜を渡す律・・・

響「！これラブ＆フレンズの楽譜！」

奏「本当だわ。…でも2枚しかない…」

律「あと2枚まだ…永森さんまだなんだ…」

漣「どうする？律…」

律「大丈夫！永森さんなら大丈夫！」

漣「……ああ。」

ミッションをクリアするにはあと2枚の楽譜が必要・・・
楽譜を持つのは永森やまとただ1人・・・

つかさを手伝いに来たあやの・・・

あやの「控え室ってここ？」

カチャッ

つかさ「はうっ！」

あやの「ひーちゃん、私。」

つかさ「あやちゃん！」

あやの「手伝いにきたよ。」

これでバイオリンを探すのは2人・・・

律「私ここで待つけど、漣は？」

漣「私もここで・・・！ハンターだ！！！」

律「！！わっ！」

ハンターが2人に迫る！

二手に分かれる律と漣・・・

律「ハアッ・・・ハアッ・・・」

漣「ハアッ・・・追って・・・来ない・・・」

建物と茂みを利用して2人ともハンターを撒いたようだ・・・

律「あぶねえ・・・」

漣「危なかった・・・」

やまと「なんとか逃げれた…」

先ほどハンターに追われたやまと・・・

やまと「・・・でも、こうが捕まった・・・ごめん……」

こうが捕まったことに罪悪感を感じているようだ・・・

その近くに・・・

漣「いまホールに戻るのは危ない……」

漣だ・・・

漣「どうしよう……？永森さん？」

やまとを見つけた・・・

やまと「・・・え？・・・秋山さんだっけ？」

漣「はい！」

やまと「・・・楽譜どうなってる？」

漣「2枚は渡しました。」

やまと「そう・・・あとはこの2枚ね。」

漣「！楽譜！・・・律の言った通りだ。」

やまと「え？」

漣「永森さんなら大丈夫って言ってましたから……」

やまと「……そう……けど……無理かも……」

漣「えっ!？」

やまと「……私のせいで……こうが……捕まった……賭けは失敗だった……もう……自信ない……」

漣「永森さん……! ハンターいます!」

やまと「えっ!？」

先ほど、律と漣をおいかけたハンターだ……
しかし、ハンターは気付いてない……

やまと「……もう……無理ね……」

漣「……律はあなたを信じてます。行つてあげてください!」

茂みから出た漣!

やまと「!! ちょっ……」

漣「お願いします!」

漣がセントラルエリアの方へ走りだす!

ハンターが漑に気づいた・・・

そして、監視ハンターも・・・

ピーン！ピーン！

見つけた・・・

近くにいたハンターが漑を狙う！

やまと「…秋山さん…まさか、私のために…？」

漑はやまとを信じる律のために・・・
そして、弱気になっていたやまとのために・・・
おとりになった！

やまと「…ごめんなさい。秋山さん…ありがとう。」

この隙にミュージックホールに向かう！

漑「！来た！」

ピーーーーー

漑（怖い！けど…）

更にもう1体のハンターが漑を見つけた！

漣「！わっ！！」

ピーーーーー

漣「！！っ！」

ボワン

秋山漣 確保

残り5人

残り時間 13分44秒

漣「…永森さん…行っ たかな？…大丈夫か。」

やまと「秋山さん…ごめんなさい…」

律「漣が…捕まっ た…」

つかさ「あやちゃん見つかった？」

バイオリンを探すつかさとあやの・・・

あやの「まだ。……！あっ た！」

峰岸あやの 奏のバイオリン入手

つかさ「やった！」

あやの「これどうするの？」

つかさ「ミュージックホールの奏さんに渡すの。」

あやの「じゃあ、行こう。」

2人そろって、控え室を出る・・・

しかし・・・

ピピピピピピピピ

監視ハンターが・・・

ピピピピピピピピ

控え室から出た2人を見た・・・

ピン！ピン！

近くのハンターが確保に向かう・・・

あやの「！ハンターかな？」

つかさ「！ええ〜！」

見つかった・・・

あやの「！来た！」

つかさ「！ふえう！」

つかさが逃げ遅れた・・・

つかさ「ふえ〜ん！」

ボワン

柊つかさ 確保

残り4人

残り時間12分32秒

つかさ「捕まっちゃった…ごめんなさい…律ちゃん。」

あやの「…ひーちゃん捕まっちゃった…私が行かないと…」

律「！柊さんも捕まった…永森さん…大丈夫だよね。」

残り10分までおよそ2分
間に合うのか・・・

MISSION 4 (5) (後書き)

バイオリンを持つあやの・・・

楽譜2枚を持つやまと・・・

ミュージックホールにたどり着けるのか？

MISSION 4 (6) (前書き)

時間が迫る・・・
間に合うのか・・・

MISSION 4 (6)

ミュージックホールに向かう・・・

やまと「時間がない・・・」

永森やまとと・・・

あやの「・・・バイオリン持ちながらってきつい・・・」

峰岸あやの・・・

しかし、エリアには3体のハンター！

そして、観覧車には3体の監視ハンター、
見つからずにたどり着けるのか・・・

あやの「・・・やった！着いた！」

先に着いたのはあやの・・・

律「！あれ？峰岸さん？」

あやの「あ、律ちゃん・・・」

律「・・・なんですか、これ？」

あやの「バイオリン……奏さんに渡すの。」

律「？メールにありましたっけ？」

あやの「ひーちゃんが頼まれたの。捕まっちゃったから私が……」

律「…らしいですね。さわちゃん…じゃなくて、奏さんはあそこで
す。」

あやの「ありがとう。」

奏のもとに急ぐあやの！

やまと「もう少し……」

やまとも急いで向かう！

あやの「奏さん！」

奏「え？あ、私のバイオリン！」

あやの「はい！バイオリンです。どうぞ。」

奏「ありがとう。これで……」

§
§
§
§
§
§

響（あの人の…悲しみの思いが…強く…誰か…）

）
）
）
）
）
）

響（えっ？…奏！？）

奏「響。私もいるよ…」

）
）
）
）
）
）

2人の奏でる曲が

エリアに響き渡る・・・

それはピアノリストにも届いた！

この音色が彼の心をほんの少しだが、あたたくくさせた・・・

この音色は別の場所にも

効果があった・・・

ピピピピピピ…ピピピピ…ピピ…ピ…ピ………

監視ハンターの動きが

止まった・・・

ピリリッピリリッピリリッ

律「メール？」「峰岸あやのが奏にバイオリンを持っていったおかげで、監視ハンターの機能が停止した。」「！」

みゆき「『ただし、残り4分になると再び動き出す。』」

あやの「すごい！やった」

やまと「…いまがチャンス！」

急いで向かうやまと・・・

残り1分を切った・・・

みゆき「あと1分もありませんね…」

あやの「楽譜…信じないとね。」

律「永森さん……」

やまと「……………もう見えてる！」

ミッション終了まで残り45秒

やまと「…着いた！どこにいるの？」

律「！永森さん！あっちです！」

やまと「！ありがとう！」

残り30秒

やまと「すいません！」

響、奏「!!」

やまと「これを…」

響「!残りの楽譜だわ!」

奏「ありがとう!これで彼を…」

やまと「…やった…」

ミッションクリア

やまと「…あれ?いなくなつた!?」

ポロロン　　ポロロン　　ポロロン　　

「待つて!」

ポロ…

ピアニスト「…?」

響「あなたの探し物よ…」

奏「ラブ&フレンズの残りの楽譜よ…」

ピアニスト「!」

ガタッ

ピアニスト「……おお、ラブ&フレンズの…楽譜だ！」

再び、椅子に腰を掛け
ピアノに触れる・・・

MISSION 4 (6) (後書き)

無事に楽譜を渡せたやまと・・・

そして、事件も

終わりに近づいた・・・

くラブ&フレンズく遊園地の事件く（前書き）

ラブ&フレンズ

愛と友だち・・・

4人が再び出会った・・・

♪ラブ&フレンズ♪遊園地の事件♪

ダン　ダン　ダン　ダン　♪ポロロン　ポロロン
ポロン　ポロン　ポロン　ポロン　♪

再び、ピアノの音色が響き渡る・・・
だが、今度は・・・

響「・・・あたたかい・・・優しい音色・・・」

奏「心があたたかくなる・・・彼らしい音色だね。」

遊園地の外にいた佐竹にも届いた。

佐竹「！・・・ラブ&フレンズ・・・楽譜が・・・見つかったのか？」

ダン　ダン　ダン　ダン　ダン　ダン　♪
ポロロン　♪
ポロロン　♪
ポロン　♪ポロン　♪
ポロロン　♪ポロン　♪
ポロロン　♪ポロン　♪
ポロン　♪ポロン　♪
ポロロン　♪
ポロロン　♪

パチパチパチパチ
パチパチパチパチ

響「……」

奏「……」

無言で拍手をする響と奏

響「…変わらない…」

奏「誰もが虜になるような」

佐竹「心がこもったピアノの音色…」

奏「！雄くん！！」

佐竹「本当に変わらない…お前の心も…演奏も…誰にたいしても優しいお前に…僕は…本当に…すまなかつた！」

響「雄くん…」

ピアニスト「…顔をあげて…」

佐竹「？…！？」

顔をあげたとたん、

頬を引っ張られる佐竹

ピアニスト「なに暗い顔してんのさ、雄。」

佐竹「え？いや…」

ピアニスト「…雄、老けたか？」

佐竹「は！？」

奏「ぷっ！」

響「…ふふっ」

佐竹「笑うな！！」

ピアニスト「悪かったな。」

佐竹「！？なんでお前が謝るんだよ！」

ピアニスト「あの時の事故は俺の不注意なんだ。お前は関係ないんだ。自分を責めるな、雄。」

佐竹「…お前には…適わないな。…ありがとう…」

ピアニスト「ハハハッ…お前のそんな顔初めて見た。傑作だな！」

佐竹「お前なあ！！」

奏「……」

ポンッ

奏「！」

響「…行きましょう。」

奏「ええ。」

出会えるはずがなかった4人・・・
しかし、この年

4人が再び出会えた・・・

奇跡の年、奇跡の日となった・・・

そして、4人の友情は

3年前からずっと変わらなかった・・・

くラブ＆フレンズく遊園地の事件く（後書き）

変わらない友情・・・

変わらないものがそこにあった・・・

ゲーム終了間近（前書き）

ミッションクリアし、
監視ハンターは機能停止中。
残り時間も10分を切った！
いったいどうなる？

ゲーム終了間近

ピリッピリッピリッ

メールだ・・・

みゆき「『ミッション結果、田井中律と永森やまとの活躍により』」

あやの「『時間リセットは免れた』。すごい。」

律「やった！永森さんやった！」

やまと「…ふう。」

こなた「誰か逃げ切るかな？」

かがみ「どうかな？」

みなみ「…みゆきさん逃げ切るかと…」

みさお「あやのはどうかな？」

たまき「やさこはどう思う？」

こう「やまとにがんばってほしい。」

唯「りつちゃんは？」

紬「どうでしょう。」

和「監視ハンターが残り4分になったら動くから……」

純「全滅ですか!？」

みく「わかんないよ。だれが生き残るかなんて。」

律「あつ、永森さん!」

やまと「!……田井中さん……」

律「信じてました!成功するって!」

やまと「……でも……」

律「?」

やまと「私のせいで……秋山さんが……」

律「え?」

やまと「……ごめんなさい……」

律「……あやまんなくても、大丈夫ですよ……」

やまと「……」

律「澪はそんな事気にしないですって。」

やまと「……」

律「…私…じつは…永森さんに感謝してます。」

やまと「!？」

律「賞金リセットのとき…あきらめてました…けど…永森さん…仲間を見捨てなかったから…私のがんばれました。」

やまと「…私は…自分のせいで…こうも…秋山さんも…捕まった…結局私は見捨てたわ。」

律「ちがう!」

やまと「!？」

律「八坂さんだって、澪だって見捨てたなんて思っていない!自分が捕まっても永森さんなら大丈夫だと思つてたはずだ!」

やまと「!?!」

こう『やまと頼むー!』

澪『……律はあなたを信じてます。行つてあげてください!』

やまと「…私…幸せ者ね…こんな風に思ってくれる人がいて…」

律「永森さん…」

やまと「…やまと」

律「え？」

やまと「やまとでいい…私も律って呼ぶから…」

律「…うん。やまと。」

やまと「ありがとう…律…」

監視ハンターの機能停止という活躍をみせたあやの…

イベントエリアを抜けて、
レジャーエリアに向かう…

あやの「いまのうちに隠れよう。」

アトラクションエリアからいまだ離れてないみゆき…

みゆき「離れましょうか。」

ようやく動くようだ…

みゆき「…！ハンター！」

見つかった…

みゆき「！イヤア…」

アトラクションを利用して距離をとる…

うまく撒いたようだ…

みゆき「ハアッ…ハアッ…びっくりしました…」

さすがはできる女…

あやの「ここ見通しいいから…見つかるかも…」

セントラルエリアとレジヤ―エリアの近くにいるあやの…

その近くにハンター…

ピーーーーー

見つかった…

あやの「…こっち危ないかな？…！イヤア―ッ！」

ピーーーーー

あやの「ヤダッ！イヤア！」

ボワン

峰岸あやの 確保

残り3人

残り時間 6分32秒

あやの「…怖かった…」

かがみ「峰岸あやの確保！」

みさお「あやのも捕まったかあ…」

梓「あと誰残ってるんですか？」

かがみ「残っているのは、高良みゆき、永森やまと、田井中律の3人！」

こなた「ここまで来たら、逃げ切れ！」

牢獄ほぼ全員「がんばれー！」

律「残り3人かあ…私残ってるし…」

ここまで生き残っている事に不思議な感じを覚える田井中律・・・

みゆき「皆さんの分までがんばらないと…」

先ほどハンターに見つかり振り切った高良みゆき・・・

やまと「…復活したのは、もう私だけ…」

唯一の復活組の生き残りの永森やまと・・・

ゲーム終了まで

残りおよそ5分・・・

果たして逃げ切れるのか？

ゲーム終了間近（後書き）

ゲーム終了まで

残りおよそ5分！

残り3人！

田井中律、

高良みゆき、

永森やまとの3人は
逃げ切れるのか？

ゲーム終了！（前書き）

ついにゲーム終了！

逃走成功者はいいるのか？

ゲーム終了！

唯「残り5分切った〜！」

牢獄ほぼ全員「イエーイ！！」

みさお「がんばれー！！」

律「ヤバイ…緊張してる…」

みゆき「あと5分切りました。」

やまと「…油断できない…もう少しで…監視ハンターが動く…」

監視ハンターは、

ゲーム時間残り4分で再び動きだす…

安心はできない…

律「もうすぐ4分だ…」

みゆき「危ないですね。こっ…」

やまと「…動いても…隠れても…危ない…」

残り4分まで・・・

5

4

3

2

1

ピピ…ピピ…ピピピピ

監視ハンター再起動・・・

みゆき「残り4分になりました…監視ハンターも動き出しますね…」

やまと「もうがんばるしかない…」

律「へたに動けなくなっただな。」

監視ハンターが再びエリアを監視する・・・

そして、ハンターもエリアを探し回る・・・

アトラクションエリアにはみゆき・・・

イベントエリアにはやまとと律・・・

律「…ヤバイ、怖くなってきた…」

みゆき「…もう少しですね…緊張します…」

やまと「…逃げ切る…絶対に！」

ゲーム終了まで残り3分・・・

だが・・・

ピピピピピピピ

監視ハンターが・・・

ピーン！ピーン！

逃走者を捕らえた！

見つかったのは・・・

みゆき「…ハンターに気をつけないと…」

みゆきだ・・・

地上のハンターが確保に動く！

みゆき「！！っ！イヤァ！」

見つかった・・・

1度逃げのびたみゆき・・・

今度はどうだ・・・

ピーーーーー

更にもう1体のハンター！

みゆき「！あーっ！」

ボワン

高良みゆき 確保

残り2人

残り時間2分09秒

みゆき「あゝ、捕まっちゃいました…」

ゲーム終了まで残り2分

かがみ「あっ！！」

こなた「だれ？」

かがみ「…みゆき…」

牢獄ほぼ全員「ええっ！！」

みなみ「みゆきさんが…」

澪「あと2人！律と永森さんだ！」

牢獄ほぼ全員「行けっ！逃げ切れー！」

やまと「…あと2人…私と律だ…」

律「やまと…大丈夫かな？」

唯「まもなく1分。」

こなた「もう逃げ切ったんじゃない？」

ゲーム終了まで残り1分

律「あと1分…」

やまと「……………お願い…」

ゲーム終了まで45秒

律「…気がはやる…」

やまと「律大丈夫よね…」

捕まればここまで積み上げてきた賞金をすべて失う…

ゲーム終了まで30秒

律「もう少し!」

やまと「震えてきた…」

牢獄全員「25…24…23…22…21…20…19…18…17…16…15」

ゲーム終了まで15秒

律「!来たー!!」

ハンターに見つかった!
逃げ切れるのか?

やまと「……………」

牢獄全員「1 4 … 1 3 … 1 2 … 1 1 … 1 0 … 9 … 8 …」

律「ハアッ…ハアッ」

やまと「……」

牢獄全員「5 … 4 … 3 … 2 … 1 … ヤッター」

逃走成功

田井中律 1 4 4 万円

永森やまと 4 8 万円獲得

律「！よっしゃー！！逃げ切ったー！」

やまと「…よかった…よかった…（泣）」

唯「りっちゃんすごい！」

こつ「やまとー！おめでとー！」

牢獄全員「おめでとー！」

律「ヤッター！」

唯「帰って来たー！」

かがみ「おめでとう！」

やまと「よかった…本当に…」

律「最後見つかってヤバかった…」

紬「それで逃げれたのってすごいです！」

こっ「やまとは賞金…」

やまと「うん。半分、律に…」

律「え！」

やまと「…復活したから…」

かがみ「というわけで…」

牢獄全員「2人ともおめでとー！！！」

律「ありがとうー！」

やまと「ありがとう！」

だが、

この様子をカメラ越しに見てた人物がいた・・・

ゲーム終了！（後書き）

律とやまと

おめでとー！！

しかし、

この様子を見てた人物とはいっ
たい・・・

謎の存在……（前書き）

ゲームは終わった・・・
しかし・・・

謎の存在……

夜の遊園地を舞台とした
逃走劇は終わった・・・

しかし、

逃走者は知らない・・・

何者かにずっと視られていたことを・・・

??1「…無事に終了しました…」

??2「…ご苦労だった…」

??3「しかし、今回は難易度がまばらになっていたと思われます
…」

??1「なに？」

??3「序盤のは難しすぎ、終盤にかけて簡単になっていた…ゆえ
に、手を加えさせてもらいました…」

??1「きさまー!!」

??2「待て！」

??1「!!」

??2「独断的な行動はいただけないが…私もそう思う…」

??1「はっ！申し訳ございません！」

??2「さて、お前もご苦労だった…Kよ」

K「はっ！」

??2「…いや、いまは…警備員というべきか？」

K（警備員）「ご冗談を…」

ミッシヨンのときに現れた怪しい影、
停電、

落としたカードキー、

そして、

宝箱の楽譜を分けて管理室に置いたのも…

すべて、警備員がわざと

やったことだった…

K（警備員）「次の準備はいかがなさいますか？」

??2「もう準備しておる…」

K（警備員）「！いつの間に？」

??2「Kよ。整いしだい準備せよ…」

K（警備員）「はっ！」

そして、

次の逃走中に向けて
新たなメンバーが集められる・・・

ボスらしき人物が
持っていた資料には、
クラス写真や部活動の写真があった・・・

特徴として

1枚は

先生が少年であること、

もう1枚は

竹刀を持った少女が5人と少年が2人であることだった・・・

謎の存在……（後書き）

謎の人物が行う逃走中・・・
次に、逃走中をやるのは・・・
だれか・・・

そして、

次回最終回です！

終幕へ（前書き）

今回で最終回。
終幕です。

終幕へ

ゲームは終了した・・・

そこへ・・・

「皆さん」

逃走者全員「え？」

そこにいたのは、

律「響さんにさわ…じゃなくて、奏さん…」

やまと「どうしてここに？」

響、奏、佐竹とあのピアニストだった・・・

唯「あの人さわちゃんじゃないの？」

憂「そっくり…」

紬「本人じゃないんですか？」

初めて会った

けいおん！メンバーと・・・

みゆき「天原先生ですよね？」

あやの「人違いにしては…」

こう「似すぎだ…」

らき　すたメンバー・・・

響「…本当にありがとう…」

律「え？」

響「あなた達のおかげで、大事なフルートが戻ってきました。」

佐竹「僕はまたみんなと笑いあえた。」

奏「私は大事な人に謝ることができた。」

ピアニスト「大事な楽譜が戻ってきて、大事な友にまた会うことができた。」

響「皆さんのおかげです。ありがとう。」

律「…私たちは…えと…」

やまと「……たいしたことはしてません。」

奏「いいえ。私たちは感謝してます。もう2度と会えないと思って

た友達に会えたから……」

響「あなた方がきっかけをくださった。本当にありがとう……」

律「えと……」

やまと「……………」

漣「ほら、行けって。」

こう「やまとも。」

律、やまと「わっ!」

漣「ほら。」

こう「うん。」

律「……………こちらこそ、ありがとうございました。」

やまと「……………ありがとうございました。」

律「私たちも大事なものを手に入れました。」

やまと「…私たちも…感謝してます。」

律、やまと「ありがとうございました。」

響「…ふふっ、お互い様…ね。」

奏「…もう…お別れかな…」

響「そう…ね…」

奏「最後に…」

律「はい？」

奏「あなた達の名前教えて…」

響「みんなの名前を…」

こなた「…泉こなたです。」

かがみ「！おまつ！1番最初に…」

つかさ「柊つかさです。」

かがみ「！つかさまで…柊かがみです。」

みゆき「高良みゆきと言います。」

みさお「わたし日下部みさお！」

あやの「峰岸あやのです。」

こう「八坂こうです！」

たまき「山辺たまきです。」

みく「毒島みく…です。」

ゆたか「小早川ゆたかです。」

みなみ「…岩崎みなみです…」

ひより「田村ひよりです！」

パティ「パトリシア・マーティンとモウシます！」

いずみ「若瀬いずみです…」

唯「平沢唯です。」

澪「…秋山澪…です…」

紬「琴吹紬と申します。」

和「私は真鍋和です。」

梓「中野梓です。」

憂「平沢憂と言います。」

純「鈴木純です！」

やまと「…永森やまと…です…」

響「あとはあなたね…」

律「私？私は田井中律！律って言います！」

響「！えっ！？」

奏「…律！？」

佐竹「……」

ピアニスト「へえ」

律「へっ？なにか？」

響「…いいえ。覚えておきます。私たちの恩人の名前…」

律「…それじゃ…さようなら。」

逃走者全員「さようなら！」

こうして、

逃走者たちは去っていった…

響「…あの子の名前と同じなんて…律。」

律「不思議だな。フルートを持って来た子の名前と響にフルートを

あげた俺の名前がおんなじなんて……」

奏「私たちがあの子たちに会えたのは偶然じゃないかも……ね。」

佐竹「今日という日は……一生忘れない……」

響「わたしも……」

奏「わたしもよ……」

律「俺もだ……」

佐竹「……3人とも会えて嬉しかったよ……」

響「……私たちは先にいくわ……」

奏「あつちであなたの音楽を聞いているからね……」

律「また、一緒に演奏できる日を待ってるからな。」

佐竹「……ああ。」

響「元気でね……」

奏「ありがとう……」

律「……じゃあな……」

佐竹「……じゃあ……」

夜だった遊園地は
朝を迎えた・・・

そこには、

幸せに満ちた1人の音楽家の姿があった・・・
のちに、

彼は生涯を音楽にそそいだ。

そして、

彼が亡くなった日・・・

彼の死顔はとても安らかだった。

あの世でまた楽しく

演奏していることだろう。

もちろん、

あの3人もいつしよに・・・

終幕へ（後書き）

らき すた&けいおん！逃走中終わりました。
皆様のおかげで
終わりまでやれました。
ありがとうございました。

次回作予告

あるマンガアニメキャラがとある場所に集まった・・・
「これよりゲームを始める」

?? 「ハンター来た！」

?? 「誰かやるって…」

?? 「どうしましょう…」

?? 「やらないと！」

?? 「行く！」

?? 「危ないかもしれない。けど、やる！」

?? 「絶対行かない！」

マンガアニメNから17人
マンガアニメBから7人
計24人の逃走者たちの
運命は？

??「…自首します…」

いったいどうなる・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1460p/>

らき すた&けいおん！逃走中

2011年10月8日11時00分発行